

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等

(平成30年度実績)

都城市

目次

都城市総合文化ホール	1
都城市林業総合センター	3
都城市リサイクルプラザ	4
志和池中央ふれあい広場	6
都城市勤労身体障害者教養文化体育施設（サンアビリティーズ都城）	7
都城市点字図書館	8
都城市老人いこいの家	10
都城市高城養護老人ホーム友愛園	11
都城市山田養護老人ホーム霧峰園	12
都城市高崎養護老人ホームたちばな荘	13
都城市梅北児童館	14
都城市安久児童館	15
都城市太郎坊児童館	16
都城市高木児童館	17
都城市下水流児童館	18
神柱児童センター	19
都原児童センター	20
都城市鷹尾児童館	21
都城市高城児童館	22
都城市山田谷頭児童館	23
都城市子育て世代活動支援センター	24
都城健康サービスセンター	26
都城夜間急病センター	27
都城市公設地方卸売市場	28
都城市食肉センター	30
都城市農業伝承の家	31
都城市チャレンジショップ及び活性化広場	32
都城市職業訓練センター	33
都城市カンガエールプラザ	35
都城市ウエルネス交流プラザ、中央地区立体自動車駐車場	37
都城市中心市街地中核施設（未来創造ステーション、まちなか広場、まちなか交流センター、中央バス待合所、中心市街地中核施設附帯駐車場）	39
母智丘関之尾公園・関之尾緑の村	41
金御岳公園	43
都城市山之口青井岳観光施設（総合交流活性化センター（青井岳荘）、青井岳会館、滝水亭、	

青井岳自然公園、青井岳キャンプ場) -----	44
都城市高城観音池公園施設(高城健康増進センター、高城ふれあいセンター) -----	46
都城市高城観音池公園 -----	48
高城竹楽のおサト -----	50
都城市山田かかしの里流れるプール -----	51
都城市山田パークゴルフ場 -----	52
都城市山田温泉交流センター(やまだ温泉) -----	53
都城市山田総合交流ターミナル複合施設(ゆぽっぽ) -----	54
都城市山田植樹等景観施設一堂ヶ丘公園、駐車場広場 -----	56
都城市山田かかしの里市民広場 -----	57
高崎総合公園(ラスパたかざき温泉交流センター) -----	58
高崎総合公園(温水プール) -----	59
高崎総合公園(たちばな天文台) -----	60
高崎総合公園(たちばな北斗ハウス) -----	61
高崎総合公園(パークゴルフ場) -----	62
高崎総合公園(RVパーク) -----	63
都城運動公園・都城市武道館・早水公園体育文化センター -----	64
都城市勤労青少年体育センター、姫城公園運動広場 -----	67
都城市上長飯一万城地区体育館 -----	68
都城市小松原地区体育館、都城市小松原市民広場 -----	69
都城市祝吉地区体育館 -----	70
都城市五十市地区体育館、都城市鷹尾市民広場 -----	71
都城市横市地区体育館、都城市横市市民広場 -----	72
都城市中郷地区体育館、都城市中郷市民広場 -----	73
都城市沖水地区体育館、都城市沖水市民広場 -----	74
都城市志和池地区体育館、都城市志和池市民広場 -----	75
都城市庄内地区体育館、都城市庄内市民広場 -----	76
都城市西岳地区体育館、都城市西岳市民広場 -----	77
都城市今町地区多目的研修集会施設 -----	78
都城市下長飯市民広場 -----	79
都城市大岩田市民広場 -----	80
山之口運動公園(体育館、武道館、野球場、陸上競技場、多目的広場、ソフトボール場)、 山之口佐土原市民広場 -----	81
都城市高城運動公園屋内競技場 -----	83
都城市山田体育館 -----	85
都城市山田運動公園(野球場、庭球場、多目的広場、陸上競技場)、都城市山田第2運動公 園 -----	86
都城市山田柔剣道場 -----	88

都城市山田弓道場	89
高崎総合公園（総合体育館、武道館、多目的広場、陸上競技場、野球場、庭球場）、都城市	
高崎大牟田地区体育館	90
都城市コミュニティセンター	92
都城市立図書館、都城市立高城図書館	93
都城市山之口多目的研修センター	95
都城市山之口健康増進センター	96
都城市山之口上富吉地区体育館	97
都城市山之口花木地区体育館	98
都城市山之口シルバーヤングふれあいの里（都城市山之口高齢者生活福祉センター、都城市山之口ふれあいの館、都城市山之口弓道・四半的場、都城市山之口屋内ゲートボール場）	99
道の駅山之口（都城市山之口ふるさと産品販売所、都城市山之口農林水産物直売所・食材供給施設、農林水産物処理加工施設）	101
都城市高城運動公園（野球場、総合体育館、多目的広場・芝生広場、庭球場、弓道場、クラブハウス）・都城市高城勤労青少年ホーム・都城市石山体育センター・都城市高城農村環境改善センター・都城市高城多目的研修集会施設	103
都城市高城老人福祉館	105
都城市高城地域交流センター	106
都城市高城横原地区コミュニティセンター	107
都城市高城原ふれあいスポーツ館	108
都城市ふれあい武道館	109
都城市山田木之川内体育センター	110
都城市山田農業者トレーニングセンター	111
都城市山田総合福祉センター（けねじゅ苑）	112
都城市山田元気な高齢者健康増進センター（健康の館）	113
都城市山田農村婦人の家、都城市山田食文化伝統伝承館	114
都城市山田工芸伝統伝承館	115
都城市山田活性化センター（かかし館）	116
都城市山田ふれあい農園	117
都城市山田谷頭駅前買物公園	118
都城市山田稲妻郷土の森	119
都城市高崎デイサービスセンター	120
都城市高崎老人福祉館	121
都城市高崎介護予防ふれあい交流センター	122
都城市高崎農産加工センター	123

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市総合文化ホール
指定管理者	都城市文化振興財団・舞台事業組合共同事業体 (指定期間：平成26年度～平成30年度)
施設所管課	市民生活部コミュニティ文化課(直通電話 0986-23-2132)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
施設利用者数	185,943人 (189,879人)	・満席近くになった公演が多く開催されたため、ホール棟の利用者数は増加した。しかし、創作練習棟の利用者数は、類似施設の影響で減少した。 ・ホール棟の利用可能日数、稼働日数が増加し、稼働率は微増となった。
施設稼働率(ホール)	68.0% (67.0%)	

施設稼働率はホール棟のみ()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	○施設及び設備の保守点検 ○防災、防犯のための警備 ○清掃等施設管理業務 ○舞台機構、舞台照明、舞台音響の技術操作及び保守管理業務 ○光熱水費支払
企画運営業務	○芸術文化の創造及び交流機会の提供 ○地域住民の芸術文化活動の育成及び支援 ○芸術文化に関する情報の収集及び提供 ○芸術文化の鑑賞機会の提供

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	213,118	213,138	213,138	管理費	248,830	243,321	246,213
利用料金	45,008	48,604	47,436	事業費	71,664	33,650	29,341
その他	44,800	19,835	25,717				
合計(①)	302,926	281,577	286,291	合計(②)	320,494	276,971	275,554
収支差額(①-②)					△17,568	4,606	10,737

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
■来場者アンケート ○公演内容 ・とても満足+まあ満足…94.2% (前年度 98.3%) ○スタッフ対応	○共催事業の中で満足度90%を下回る公演があった。今後も観たい公演に関するアンケートを実施し、その結果を反映した公演の選定を行っていく必要

<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足+まあ満足…95.9% (前年度 93.6%) ■クレーム等 ○クレーム件数 23件 	<p>がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スタッフ対応については満足度が上昇している。 ○クレーム等については全て対応済み
--	--

5 指定管理者制度導入による効果

<ul style="list-style-type: none"> ○専門知識を持つ職員による円滑で効率的な管理運営 ○経費節減の意識向上 ○利用者視点によるサービス向上

6 総合評価

評価コメント	<p>自主文化振興事業、貸館事業、ともに満席近くになった公演が多く開催されたため、ホール棟の利用者数は増加したが、施設利用者数は減少した。原因としては、創作練習棟の利用者数が、類似施設の影響で減少したことによるものである。</p> <p>入場料収入として買取公演のチケット売上金収入が伸びたこと、販売等収入として共催公演のチケット売上手数料収入が伸びたこと、事業経費が前年度と比較して減となったことにより、二期連続の黒字決算となった。</p> <p>スタッフ対応については、セルフモニタリング等の結果を適切に活かしており満足度が上昇したが、公演内容については、共催事業も含めた満足度向上に向けた施策が必要である。</p> <p>利用者からのクレームについては、迅速かつ的確な対応をしていると判断される。</p>
特記事項	

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市林業総合センター
指定管理者	都城森林組合（指定期間：平成26年度～平成30年度）
施設所管課	環境森林部森林保全課（直通電話 0986-23-2152）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数（人）	11,448 (11,353)	自主事業増加により利用者が増加したため

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	利用許可、利用料金の徴収及び減免、光熱水費支払、施設等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,720	1,720	1,720	維持管理費	2,329	2,478	2,439
利用料金	639	742	708				
前年度繰越金外	55	85	69				
合計(①)	2,414	2,547	2,497	合計(②)	2,329	2,478	2,439
収支差額(①-②)					85	69	58

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
集会室出入口のネット取り付け	ネット設置
施設及び物品の修繕	その都度修繕
出入口警備システムエラー	修理
施設利用料金の無料化	検討
空調設備の設置	検討

5 指定管理者制度導入による効果

休館日の施設貸し出しによる市民サービスの向上 自主事業増加による利用者の増加

6 総合評価

評価コメント	利用者の要望・意見は常に日誌で聞き取りを行い、速やかに対処されている。 指定管理者自身が管理施設及び物品の点検・修繕を適宜行うため、建物内は良好な状態が保たれている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市リサイクルプラザ
指定管理者	真栄産業株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	環境森林部環境施設課(直通電話 0986-23-3319)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
不燃ごみ搬入量	2,936 t (2,828 t)	施設視察者数は、環境まつりや自主事業等によるPR効果により増加したと思われる。 新規体験メニューの企画立案等、実施しており、工房利用者数は増加した。
資源ごみ搬入量	1,990 t (2,025 t)	
施設視察者数	16,758人 (16,066人)	
工房利用者数	837人 (623人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント運転管理業務 ・設備等保守点検管理業務 ・破砕残渣運搬業務
企画運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・さいせい館企画運営等業務

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	89,121	84,854	90,691	維持管理費	7,287	6,921	8,193
利用料金	2,028	1,862	1,110	事業費	99,806	86,901	89,019
自主事業	13,344	16,544	13,617	自主事業	309	0	173
合計(①)	104,493	103,260	105,418	合計(②)	107,402	93,822	97,385
収支差額(①-②)					△2,909	9,438	8,033

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
いつも楽しませてもらっているが、時々価格が高いと思うことがある。 特に植木鉢。	価格の検討を行う。
分別の仕方がわかり、処理方法もわかった。物を大切にしたい。	より多くの方が気軽に見学できるよう広報、啓発活動を行う。

5 指定管理者制度導入による効果

<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運転管理及び保守点検における技術導入 ・施設の維持管理に係る経費の縮減 ・自主事業によるリサイクルプラザ及びさいせい館の積極的なPR
--

6 総合評価

評価コメント	<p>施設の運転管理、保守点検及び破碎残渣運搬について、適切に実施されていた。</p> <p>また、自主事業において積極的にリサイクルプラザの広報を実施しており、施設利用者数も年々増加している。</p> <p>工房利用者数も増加しているが、利用者からの意見等、情報収集に努め、展示物や体験コーナーの充実を図り、さらなる成果を目指す。</p>
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	志和池中央ふれあい広場
指定管理者	志和池地区環境整備対策協議会（指定期間：平成28年度～平成30年度）
施設所管課	環境森林部環境施設課（直通電話 0986-23-3319）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	パークゴルフ場 7,085人 (6,303人)	利用者見込数は達成されているが、天候に左右される
	多目的・遊具広場 18,313人 (14,834人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の利用許可、取消し等に関する業務 利用料金の設定、徴収、還付に関する業務 管理施設と管理物品の維持及び軽微な修繕に関する業務
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,696	4,349	4,349	維持管理費	2,298	4,754	5,653
利用料金	861	1,182	1,348				
その他	2	5	3				
合計(①)	2,559	5,536	5,700	合計(②)	2,298	4,754	5,653
収支差額(①-②)					261	782	47

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
もっと日陰がほしい	埋立地であり制約がある中、パイプシェイドを設置した。

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者の母体が志和池地区自治公民館連絡協議会であり、地域に密着しているため、地元自治公民館や地元民主団体等へPR・広報活動を行い利用者の増加につなげている。地域の交流の場として施設の効果的な活用をしている。

6 総合評価

評価コメント	利用者数及び利用料金の収入は増加した。今後も地域住民と協力しながら、イベントの開催や更なるPR活動と経費節減に努めることで利用者及び収入の増加に期待できる。 また、芝の良好な状態が維持できるよう管理していく。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市勤労身体障害者教養文化体育施設 (サンアビリティーズ都城)
指定管理者	株式会社文化コーポレーション (指定期間 平成27年度～令和元年度)
施設所管課	福祉部福祉課(直通電話 0986-23-2980)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
年間利用者数	22,381人 (22,289人)	指定管理者による利用者・団体等への周知及び自主事業の開催(ヨガ、フラダンス教室等)
内、障害者分	11,242人 (9,372人)	

()内は前年度数値

2 管営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	使用申込受付、使用料徴収、光熱水費支払、設備等の保守管理、定期清掃、植栽管理、警備、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	9,983	9,953	9,923	維持管理費	9,983	8,682	8,684
合計(①)	9,983	9,953	9,923	合計(②)	9,983	8,682	8,684
収支差額(①-②)					0	1,271	1,239

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
職員の対応、使用申請、施設整備等についてのアンケートを実施	職員の対応、使用申請については概ね満足されている。施設の修繕については毎年度、順次修繕を行っている。

5 指定管理者制度導入による効果

管理経費の削減

6 総合評価

評価コメント	障がい者の利用が増加傾向であり、施設事務員に障がい者スポーツ指導員の資格を取得させるなど、施設の円滑な管理運営と障がい者及び団体に対して便宜が図られている。
特記事項	当該施設は都城市の指定避難所(一次避難所・福祉避難所)である。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市点字図書館
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会(指定期間:平成26年度～平成30年度)
施設所管課	福祉部福祉課(直通電話 0986-23-2980)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
蔵書数(タイトル数)	10,859冊 (10,666冊)	貸出数の減少は、サピエ図書館(デジタル(音声)データを利用するためのネットワーク)のメンテナンス休止期間があったこと、利用者ニーズの多様化により、専門的な分野の図書利用が増加傾向にあるのに対し、万人向けの図書の利用が減少傾向にあることが要因と考えられる。
貸出数(タイトル数)	24,618冊 (26,955冊)	
研修・講習会(延回数)	194回 (175回)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	管理物件の維持管理
企画運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・点字図書、録音図書、デジタル図書、定期刊行物等の製作、収集、保管及び貸出 ・点訳、音訳等のボランティア養成及び指導 ・視覚障害者の社会参加のためのサポート

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	15,799	16,073	16,239	維持管理費	15,799	16,073	16,239
広報受託金		486	516	法人運営事業		883	907
雑収入		565	224				
合計(①)	15,799	17,124	16,979	合計(②)	15,799	16,601	16,671
			収支差額(①-②)		0	523	308

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

専門的な知識や資格を持つ職員を配置し、ボランティア団体との協働により運営が行われている。

6 総合評価

評価コメント	新型デジタル機器の操作指導、点訳・音訳のプライベートサービスへの対応等、利用者のニーズに応じた工夫と取組を行って
--------	--

	いる。また、図書館とのコラボレーションにより、広く市民の障がいへの理解を深めてもらうための活動を行うなど、視覚障がい者の福祉への取組みは高く評価できる。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市老人いこいの家
指定管理者	公益社団法人都城市シルバー人材センター (指定期間：平成27年度～令和元年度)
施設所管課	福祉部福祉課(直通電話 0986-23-3102)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	9,464人 (11,840人)	団体・個人の利用逡減については、新築された地区公民館の影響と考えられる。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の利用許可、取消し等に関する業務 施設の維持及び修繕に関する業務 施設内の入浴施設の衛生管理に関する業務 その他施設等管理及び運営に関する業務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	5,340	5,340	5,340	維持管理費	5,340	5,517	5,406
合計(①)	5,340	5,340	5,340	合計(②)	5,340	5,517	5,406
収支差額(①-②)					0	△177	△66

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
入浴日時等が不明確との苦情	受付前に加え、施設出入口にも貼り紙掲示。
入浴の注意書きが不明確との苦情	脱衣場内に加え、浴場入り口及び受付前にも注意書き掲示。

5 指定管理者制度導入による効果

節水、節電により経費節減に効果を上げている。独自のノウハウ(庭木の剪定、各種清掃)により、施設の良い環境整備に寄与している。
--

6 総合評価

評価コメント	経費節減に努め、浴槽の水質検査や法令に基づく各種保守点検、環境整備等に関しては、独自の専門的知識を活かし、良好な維持管理を行っていた。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城養護老人ホーム友愛園
指定管理者	社会福祉法人スマイリングパーク (指定期間：平成29年度～令和3年度)
施設所管課	福祉部福祉課(直通電話 0986-23-3102)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
入所者数	年間平均 48人 (47人)	定数50人(随時、入退所あり)

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設・設備の保守管理、清掃・警備・その他の管理業務 定期清掃、安全管理
企画運営業務	老人福祉法による養護サービスの提供

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	—	106,691	113,485	維持管理費	—	72,221	82,044
利用料金	—	0	82	事業費	—	30,598	31,749
その他	—	796	2,864	その他	—	995	1,496
合計(①)	—	107,487	116,431	合計(②)	—	103,814	115,289
収支差額(①-②)					—	3,673	1,142

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

社会福祉法人のノウハウを生かした質の高いサービスの提供と経費の削減

6 総合評価

評価コメント	入所者のニーズに応じた適切な生活支援、健康管理等が行われ、また、生活向上に向けた設備改修も行われている。
特記事項	公民館加入及びボランティアの受け入れ等により、地域住民等と積極的な交流が行なわれている。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田養護老人ホーム霧峰園
指定管理者	社会福祉法人スマイリング・パーク (指定期間：平成30年度～令和2年度)
施設所管課	福祉部福祉課(直通電話 0986-23-3102)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
入所者数	年間平均 41人 (34人)	定数50人(入所・退所が随時あり) 入所者数は年度平均である。今年度は、 38人～44人で推移した。市内全体の入所希 望者増加により、入所者数は増加傾向であ った。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設・設備の保守管理、清掃・警備・その他の管理業務 定期清掃、安全管理
企画運営業務	老人福祉法による養護サービスの提供

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	85,580	87,201	97,726	維持管理費	65,846	64,344	71,340
その他	68	43	897	事業費	18,806	22,393	26,563
合計(①)	85,648	87,244	98,623	合計(②)	84,652	86,737	97,903
収支差額(①-②)					996	507	720

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

民間活力による質の良いサービスの提供

6 総合評価

評価コメント	入所者へはきめ細やかな処遇であり、施設維持管理も適切。全般において、良好である。施設内の軽微な改修を行い、入所者の生活環境を整えるなど、努力が見られる。
特記事項	指定管理料策定の際の入所者見込数と入所者実績の差による差額を少なくする為、平成28年度以降の指定管理料は年度末精算を実施している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高崎養護老人ホームたちばな荘
指定管理者	社会福祉法人豊の里（指定期間：平成28年度～令和2年度）
施設所管課	福祉部福祉課（直通電話 0986-23-3102）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
入所者数	年間平均 47人 (48人)	定数50人（随時、入退所あり）

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理、清掃、整備、定期的な施設内の消毒、安全管理、その他の管理業務
企画運営業務	老人福祉法による養護サービスの提供

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	90,060	90,180	90,200	維持管理費	57,784	60,185	59,879
利用料金	102	130	427	事業費	37,396	38,370	38,132
その他	132	107	71	その他	0	0	0
合計(①)	90,294	90,417	90,698	合計(②)	95,180	98,555	98,011
収支差額(①-②)					△4,886	△8,138	△7,313

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
職員の対応状況や施設生活の快適さについて	9割の方が満足されており、入所者の要望に対する迅速な対応や毎日の声かけ、健康状態に関するこまめなチェックが、入所者に安心感を与え、高満足度に繋がっている。

5 指定管理者制度導入による効果

民間活力による質の高いサービスの提供と経費の節減。

6 総合評価

評価コメント	施設維持管理については、良好に管理されている。また、入所者への処遇等についても随時学習会を行い適切に行われている。アンケートなどの評価を基に入所者の満足度向上のため活動の見直しを行っており、管理運営全般にわたり評価出来る。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市梅北児童館
指定管理者	NPO法人子育てネットおひさまとはらっぴ(指定期間:平成26年度~平成30年度)
施設所管課	福祉部こども課(直通電話 0986-23-2684)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	6,045人 (5,674人)	イベントの人気の高い。ニーズに合ったイベントを実施したことが利用者の増加に繋がったと思われる。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理(消防設備・遊具・清掃等の点検など)
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業(季節ごとのイベント・写真会・高齢者クラブとの交流会・キャンプ・ベビーマッサージ)

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,892	3,892	3,892	維持管理費	3,921	3,905	3,902
利用料金				事業費			
自主事業	37	17	25	自主事業			
合計(①)	3,929	3,909	3,917	合計(②)	3,921	3,905	3,902
収支差額(①-②)					8	4	15

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
玩具や本を増やしてほしい。	玩具の購入や本の寄附をしてもらった。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	キャンプ部など独自性のあるイベントを実施していて、健全育成に寄与。 地元文化祭では館内様子の写真展示行ったり、地元高齢者との交流を図るなど管理運営方針に沿った事業を実施。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市安久児童館
指定管理者	NPO法人こじいの森・こどもの時間(指定期間:平成26年度～平成30年度)
施設所管課	福祉部こども課(直通電話 0986-23-2684)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	11,442人 (11,464人)	小学校等にチラシ配布したり、独自ホームページを作成するなど館周知を図っている。昨年とほぼ変動なし。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理(消防設備・遊具・清掃等の点検など)
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業(季節の行事・わらべうたあそび・ベーゴマ大会・絵本の読み聞かせ会)

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,923	3,923	3,923	維持管理費	3,925	4,047	3,932
自主事業				自主事業			
合計(①)	3,923	3,923	3,923	合計(②)	3,925	4,047	3,932
収支差額(①-②)					△2	△124	△9

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
居心地のいい交流の場	ニーズに合った運営を実施している。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	羊毛を使った工作やわらべうたを始めとする古き良き遊び、また館敷地内プールなどニーズに合った運営を心がけている。児童クラブの子供達の来館が多く占めているが、クラブ利用者との共同活動も盛ん。事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市太郎坊児童館
指定管理者	NPO法人こじいの森・こどもの時間（指定期間：平成26年度～平成30年度）
施設所管課	福祉部 こども課（直通電話 0986-23-2684）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	5,237人 (4,825人)	小学校等にチラシ配布したり、独自ホームページを作成するなど館周知を図っている。ニーズに合った事業で来館者数増。 () 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理（消防設備・遊具・清掃等の点検など）
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業（季節の行事・わらべうたあそび・ベーゴマ大会・絵本の読み聞かせ会）

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,892	3,892	3,892	維持管理費	3,955	4,020	4,018
自主事業				自主事業			
合計(①)	3,892	3,892	3,892	合計(②)	3,955	4,020	4,018
収支差額(①-②)					△63	△128	△126

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
居心地のいい交流の場	ニーズに合った運営を実施している。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	ベーゴマ大会を通じ古き良き遊びを子供達に提供している。 廃材を活用した工作の実施。 事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高木児童館
指定管理者	NPO法人こじいの森・こどもの時間(指定期間:平成26年度～平成30年度)
施設所管課	福祉部こども課(直通電話 0986-23-2684)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	5,471人 (4,743人)	独自ホームページを作成するなど館周知を図っている。ニーズに合った事業で来館者数増。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理(消防設備・遊具・清掃等の点検など)
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業(季節の行事・わらべうたあそび・ベーゴマ大会・絵本の読み聞かせ会)

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,889	3,889	3,889	維持管理費	3,940	4,118	3,921
自主事業	3			自主事業			
合計(①)	3,892	3,889	3,889	合計(②)	3,940	4,118	3,921
収支差額(①-②)					△48	△229	△32

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
居心地のいい交流の場	昆虫採集や畑作業などニーズに合った運営を実施している。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	ベーゴマや羊毛を使った工作やわらべうたを始めとする古き良き遊び、また地域との交流も積極的に行っている。事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市下水流児童館
指定管理者	NPO法人こじいの森・こどもの時間(指定期間:平成26年度～平成30年度)
施設所管課	福祉部こども課(直通電話 0986-23-2684)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	5,141人 (4,658人)	独自ホームページを作成するなど館周知を図っている。前年度来館者数が少ない理由は、1月のインフルエンザ流行により来館者数が少なかったため。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理(消防設備・遊具・清掃等の点検など)
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業(季節の行事・わらべうたあそび・ベーゴマ大会・絵本の読み聞かせ会・もちつき大会)

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,889	3,889	3,889	維持管理費	3,915	4,066	4,381
自主事業				自主事業			
合計(①)	3,889	3,889	3,889	合計(②)	3,915	4,066	4,381
収支差額(①-②)					△26	△177	△492

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
居心地のいい交流の場	昆虫採集や畑作業などニーズに合った運営を実施している。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	羊毛を使った工作やわらべうたを始めとする古き良き遊び、地域との交流も盛ん。 事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	神柱児童センター
指定管理者	NPO法人こじいの森・こどもの時間（指定期間：平成26年度～平成30年度）
施設所管課	福祉部こども課（直通電話 0986-23-2684）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	19,937人 (15,313人)	独自ホームページを作成するなど館周知を図っている。各部屋のリニューアルなどニーズに合った事業で来館者が大きく増加。 () 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理（消防設備・遊具・清掃等の点検など）
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業（季節の行事・わらべうた・ソーマン流し・絵本の読み聞かせ会）

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	5,574	5,574	5,574	維持管理費	5,943	6,054	6,309
自主事業	7			自主事業			
合計(①)	5,581	5,574	5,574	合計(②)	5,943	6,054	6,309
収支差額(①-②)					△362	△480	△735

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
卓球台で遊びたい	卓球台の増設。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	幼児連れから高校生まで幅広い年齢の児童が利用。来館者数増大でも大きな揉め事はなく目配り気配りのたまもの。体力増進を図る施設として、トレーニングを事業に取り入れている。事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都原児童センター
指定管理者	NPO法人子育て応援団ひいらぎ(指定期間:平成26年度~平成30年度)
施設所管課	福祉部こども課(直通電話 0986-23-2684)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	10,845人 (11,422人)	児童館だよりやFacebookや代表者のブログなどで周知活動を行っている。今まで来館していた未就学児の減少が来館者数減の要因。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理(消防設備・遊具・清掃等の点検など)
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業(季節の行事・廃品工作・エコチャレンジなど)

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	4,944	4,944	4,944	維持管理費	4,924	4,859	4,770
自主事業				自主事業			
合計(①)	4,944	4,944	4,944	合計(②)	4,924	4,859	4,770
収支差額(①-②)					20	85	174

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
玩具や絵本を増やしてほしい	地域の方からの寄附があり充実していった。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	ニーズに合わせたイベントの取り入れることで、児童の健全育成・利用者増に努めている。 巧技台やトランポリンを利用し体力増進活動にも盛ん。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市鷹尾児童館
指定管理者	社会福祉法人相愛会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	福祉部こども課（直通電話 0986-23-2684）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	5,033人 (5,376人)	スポーツ少年団加入、新規利用者の伸び悩みなどで来館者数が減少した要因と考えられる。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理（消防設備・遊具・清掃等の点検など）
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業（卓球大会、本読み聞かせ、映写会、アイロンビーズ、季節の行事等）

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,822	3,822	3,822	維持管理費	3,618	3,777	3,769
自主事業	11			自主事業			
その他		359	5				
合計(①)	3,833	4,181	3,827	合計(②)	3,618	3,777	3,769
収支差額(①-②)					215	404	58

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
イベント開催	ニーズに合ったイベントの実施。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	地域や地元高齢者との交流積極的に行っている。また困難事案に積極的に向かい学校等と連携を密にとっていて、管理運営方針に沿った事業を実施。 避難訓練を定期的に行うことで防災意識向上を図っている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城児童館
指定管理者	社会福祉法人さかえ福祉会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	福祉部こども課（直通電話 0986-23-2684）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	3,050人 (3,582人)	スポーツ少年団加入、新規利用者の伸び悩みなどで来館者数が減少した要因と考えられる。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理（消防設備・遊具・清掃等の点検など）
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業（バトミントン大会・指人形シアター・音楽に合わせたふれあい遊び、スライム遊び等）

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,950	3,950	3,950	維持管理費	4,064	4,019	4,267
自主事業				自主事業			
その他	115						
合計(①)	4,065	3,950	3,950	合計(②)	4,064	4,019	4,267
収支差額(①-②)					1	△69	△317

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
開館時間延長、遊具購入希望	ニーズに合ったイベントを実施し対応。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	2階に乳児室を作ったことで、親子連れの利用が伸びている。日誌等の管理を含め個人情報保護の意識が高い。管理運営方針に沿った事業を実施。事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田谷頭児童館
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	福祉部こども課(直通電話 0986-23-2684)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
来館者数	2,862人 (3,883人)	スポーツ少年団加入、新規利用者の伸び悩みなどで来館者数が減少した要因と考えられる。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設、設備の保守管理(消防設備・遊具・清掃等の点検など)
企画運営業務	児童の健全育成に資する事業(英語ゲーム・こけない体操・クッキング教室・ぼかぼかひろば・季節のイベント等)

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	4,054	4,054	4,054	維持管理費	4,055	4,305	4,155
自主事業				自主事業			
その他							
合計(①)	4,054	4,054	4,054	合計(②)	4,055	4,305	4,155
収支差額(①-②)					△1	△251	△101

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
草刈り要望	専門業者に委託し対応。

5 指定管理者制度導入による効果

管理運営コスト節減。特色のある行事の開催。

6 総合評価

評価コメント	地域に児童館の周知活動を積極的に実施。英語教師を招き無料で英会話教室の開催、地域高齢者と一体となったイベントの開催。地元で根ざした事業を実施している。事業赤字の解消を期待。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市子育て世代活動支援センター
指定管理者	社会福祉法人善隣館福祉会（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	福祉部保育課（直通電話 0986-23-4894）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	子育て支援センター 62,807人 (一人)	平成30年4月開館。
	プレイルーム 52,347人 (一人)	
	一時預かり 417人 (一人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	利用許可業務、利用料金徴収業務、管理物件の維持及び軽微な修繕業務
企画運営業務	地域子育て支援拠点事業、遊び場事業、一時預かり事業、利用者支援事業、賑わい創出事業

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	—	—	49,487	維持管理費	—	—	46,319
利用料金	—	—	759	事業費	—	—	3,005
雑収入	—	—	288				
合計(①)	—	—	50,534	合計(②)	—	—	49,324
収支差額(①-②)					—	—	1,210

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
<input type="checkbox"/> 利用者アンケート <input type="radio"/> 利用の感想 とても良かった 87.0% 良かった 12.5% 普通 0.5% <input type="radio"/> 利用回数 初めて 17% 2回目 10% 3回目 9% 4回以上 64%	飲食スペースについて狭い、冬場が寒い等の意見があったが、1階まちなか交流センターロビーも利用できるようにお知らせしている。

5 指定管理者制度導入による効果

移転前と比べ、開館時間が18:00（子育て支援センターは17:00）まで延長され、土日祝日も開館することになり、利便性の向上に繋がっている。保育士を配置することにより専門性が高まり、円滑で効率的な運営ができています。

6 総合評価

評価コメント	当初目標利用者数70,000人を大きく越える利用があり、アンケート結果からも、利用者からの評価も高い。利用回数のアンケート結果からリピーターの割合が高く、リピーターを減らさず、新規利用者が増となるようなイベントの企画、取り組みが求められる。
特記事項	

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城健康サービスセンター
指定管理者	一般社団法人都城市北諸県郡医師会(指定期間:平成26年度~平成30年度)
施設所管課	健康部健康課(直通電話 0986-23-2765)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
政管・人間ドッグ	16,278人 (15,671人)	平成27年度の移転後、それぞれの検診項目で受診者が増加傾向にある。
企業健診	10,324人 (10,060人)	
結核・肺がん検診	23,544人 (22,501人)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	検診・検査業務、検体受付業務

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
利用料金	820,655	858,019	876,438	維持管理費	90,350	97,273	96,437
				事業費	658,980	699,398	754,545
合計(①)	820,655	858,019	876,438	合計(②)	749,330	796,671	850,982
			収支差額(①-②)		71,325	61,348	25,456

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

専門的かつ高度な技術を必要とする施設の運営を行うことができた。

6 総合評価

評価コメント	施設の運営は順調であり、市民の健康状態維持のため、経費節減等にも取り組みながら運営を行っている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城夜間急病センター
指定管理者	一般社団法人都城市北諸県郡医師会（指定期間：平成26年度～平成30年度）
施設所管課	健康部健康課（直通電話 0986-23-2765）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
内科	5,311人 (5,403人)	◆H27太郎坊町に移転後、施設が遠くなった曾於市、志布志市の利用者が減少する。 ◆医師の疲弊を招くコンビニ受診を抑制するため、市広報等で啓発を行う。 以上のことから、全体的に減少した。
外科	2,799人 (2,984人)	
小児科	5,320人 (5,724人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	夜間急病患者の診療に関する業務

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	325,268	355,438	383,966	維持管理費	47,556	51,595	51,527
利用料金	184,196	188,344	179,128	事業費	478,900	497,114	511,523
				その他			0
合計(①)	509,464	543,782	563,094	合計(②)	526,456	548,709	563,050
			収支差額(①-②)		△16,992	△4,927	44

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

専門的かつ高度な技術を必要とする施設の運営を行うことができた。

6 総合評価

評価コメント	患者の多寡によって収入に変動が生じるが、機器の再リース等で経費節減にも努め、運営が安定するように尽力している。
特記事項	

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市公設地方卸売市場
指定管理者	株式会社都城公設卸売市場（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	農政部農政課（直通電話 0986-23-2768）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
青果部 年間取扱高	4,015,842千円 (4,463,151千円)	蔬菜部門は、全般的に入荷が安定したが、夏場の高冷地のキャベツ等が生育不良により入荷量が減少。秋口は台風24号等から大根等を中心に入荷量が減少。冬場は暖冬により、出荷が増え単価安が続いた。 果瓜類は好調な荷動きであったが、イチゴは入荷量減の単価高、りんごは台風被害によりキズ果となり単価安となった。 花き部門は、切花市が仏花需要の減少により厳しい状況が続いた。鉢物市は、週末ごとの天候不順が大きく影響し、相場に響いた。特に苗物は、産地減少により入荷減となっており、野菜苗については青果物の安値の影響もあった。
水産物部 年間取扱高	726,116千円 (756,954千円)	
花き部 年間取扱高	1,372,303千円 (1,331,639千円)	
買受人	236人 (242人)	
買出人	335人 (333人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	利用料金の徴収、施設及び設備の保守管理、修繕、定期清掃、警備、植栽管理、光熱水費等支払、その他条例等規定業務
企画運営業務	「市場の駅」一般開放、市場まつりの支援、先進地視察事業、ホームページの運用、有害鳥獣対策事業

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
利用料金	73,652	71,467	68,363	維持管理費	52,691	48,038	56,947
雑収入	49	49	81	事業費	9,497	10,141	8,382
				法人税等	3,106	3,737	1,904
合計(①)	73,701	71,516	68,444	合計(②)	65,294	61,916	67,233
収支差額(①-②)					8,407	9,600	1,211

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の老朽化に起因する不具合や有害鳥獣等にたいする苦情・要望	指定管理職員及び専門業者が、その都度、迅速に対応した。

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者の持つ専門性を活かした効率的な管理運営やコスト削減等により、市場施設維持管理費等の縮減が図られた。

6 総合評価

評価コメント	利用料金の徴収事務、会計処理、書類の管理、管理物件の維持管理業務等、適正な管理体制が構築されており、経営状況も引き続き順調に推移した。 また、ホームページ等を利用した情報発信の充実や関係者と連携したイベントの開催等、市場活性化策にも継続的に取り組むなど、指定管理者としての評価は高い。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市食肉センター
指定管理者	都城ウエルネスミート株式会社(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	農政部畜産課(直通電話 0986-23-2769)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
と畜頭数(牛)	2,807頭 (2,277頭)	牛:積極的な集荷努力によりと畜頭数増となった。 豚:PED影響からの回復による飼養頭数増によりと畜頭数増となった。
と畜頭数(豚)	271,688頭 (265,178頭)	
と畜頭数(馬)	16頭 (20頭)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	と畜場の管理運営、施設等の維持及び修繕、衛生保持、冷却冷蔵、牛海綿状脳症対策、利用料の徴収及び管理、事務報告等
企画運営業務	豚衛生部会(毎月)、牛衛生部会(毎月)、連絡協議会、BSE対策会議、食肉衛生検査所査察:小動物・大動物(各年1回)、畜魂慰霊法要、視察受入等

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	0	0	維持管理費	243,851	241,948	243,397
利用料金	543,510	515,625	533,743	事業費	245,130	235,918	236,598
自主事業	43,887	38,311	39,057	自主事業			
合計(①)	587,397	553,936	572,800	合計(②)	488,981	477,866	479,995
収支差額(①-②)					98,416	76,070	92,805

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者の集荷及び経費抑制等の努力による収益の確保、また、施設への積極的な投資により利便性向上が図られ利用者に資する。

6 総合評価

評価コメント	積極的な集荷努力により、利用実績が前年度を上回った。また、施設への積極的な投資により施設機器等の延命化にも尽力している。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市農業伝承の家
指定管理者	特定非営利活動法人 正応寺ごんだの会（指定期間：平成30年度～令和7年度）
施設所管課	農政部農村整備課（直通電話 0986-23-2981）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	690人 (916人)	昨年に比べ食育体験学習、オレンジカフェなどのイベントがなかった事が利用者の減少だと思われる。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	農業食育体験塾、特産品を利用した加工販売等

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	183	183	183	維持管理費	240	218	177
利用料金	4	4	1	事業費			
繰越金	100	48	17				
合計(①)	287	235	201	合計(②)	240	218	177
				収支差額(①-②)	47	17	24

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
特になし	

5 指定管理者制度導入による効果

地域の団体が指定管理者となっていることで、地元の食材を使った地産地消の食育イベント等の地域の特色を生かした企画を行うなど、地域活性化のための取り組みを継続しつつ、メディアの取材も活用し農村地域の伝統文化の情報発信にも積極的に取り組んでいる。
--

6 総合評価

評価コメント	地域住民と一体となった自主事業を積極的に開催しており、施設の有効活用と地域団体へのサービス確保が維持されている。また、食育イベントの計画や地産地消加工品製造にも取り組み、農村地域の伝統文化の継承などにも寄与している。
特記事項	特になし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市チャレンジショップ及び活性化広場
指定管理者	協同組合都城オーバルパティオ (指定期間：平成28年度～平成30年度)
施設所管課	商工観光部商工政策課(直通電話 0986-23-2983)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
チャレンジショップ来場者数	2,319人 (1,148人)	・10月に全4店舗の出店が実現した。 ・オーバルパティオとの連携イベント等の実施により、来場者数の大幅な増加を達成した。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	建物保守点検、活性化広場の清掃、警備、防災・安全対策等
企画運営業務	新規創業支援、賑わい空間の創出等の企画運営

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,170	1,170	1,170	維持管理費	1,450	1,586	1,446
利用料金	427	316	408	事業費	255	102	327
その他	434	324	400				
合計(①)	2,031	1,810	1,978	合計(②)	1,705	1,688	1,773
収支差額(①-②)					326	122	205

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
・女子トイレ手洗排水詰まり ・店舗壁からの雨漏り	出店者や来場者の安全と安心を確保し、施設が利用しやすい状態を常に保つよう努めている。

5 指定管理者制度導入による効果

<ul style="list-style-type: none"> ・組合組織を中心に、中心市街地で商業を営む者が責任者、スタッフとして携わっており、そのノウハウはショップ生の育成支援に十分活かされている。 ・建物・設備の保守点検を定期的に行い、軽微なものについては、迅速に対応している。

6 総合評価

評価コメント	今後とも市や商工会議所など関係機関と連携して、出店者への育成支援や利用の促進を図り、チャレンジショップの価値を高めながら中心市街地の一体的な賑わい創出に寄与していただきたい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市職業訓練センター
指定管理者	職業訓練法人都城地域職業訓練協会（指定期間：平成26年度～平成30年度）
施設所管課	商工観光部商工政策課（直通電話 0986-23-2983）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
延べ生徒数(人)	12,048人 (12,545人)	平成30年度は集計方法が変更になり、昨年度まで職業訓練校で集計していた利用者（普通課程、カンガエールプラザで授業）をカンガエールプラザで集計したため減になっている。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設清掃、庭木剪定、簡易修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練その他職業訓練に関して必要な業務（普通・短期過程、委託・求職者支援訓練）

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ その他の収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
補助金	7,750	7,924	7,764	維持管理費	3,794	5,397	1,338
業務委託料等	32,457	33,586	32,291	事業費	32,730	35,897	35,185
合計(①)	40,207	41,510	40,055	合計(②)	36,524	41,294	36,523
収支差額(①-②)					3,683	216	3,532

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

日常の施設清掃は同協会職員が実施し、軽微な修繕・庭木の剪定に関しては、職業訓練の一環として同協会でも実施しており、経費節減が図られている。

6 総合評価

評価コメント	専門的かつ高度な技術、ノウハウ等を有しており、適切な管理運営を行っていると思われる。
特記事項	平成30年度は県の委託訓練及び求職者支援訓練の受講者数が減少した。 職業訓練センターの設置目的である認定職業訓練(普通課程及び短期課程)の実施は、時代や社会の変化に伴い生徒が集まりにくい状況にあるため訓練生が減少している。国、宮崎労働局、県委託訓練の求職者を対象にした職業訓練の募集に対して

	積極的に応募し、求職者講座は順調に開講されている。 指定管理者として認定訓練の授業の一環で施設の修繕を行う などの経費の削減を図っており、その点は大変評価できる。
--	---

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市カンガエールプラザ
指定管理者	職業訓練法人 都城地域職業訓練協会（指定期間：平成28年度～令和3年度）
施設所管課	商工観光部商工政策課（直通電話 0986-23-2983）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数(人)	4,747人 (4,234人)	平成30年度は集計方法が変更になり、昨年度まで職業訓練校で集計していた利用者（普通課程、カンガエールプラザで授業）をカンガエールプラザで集計したため増になっているが、実質的には減少している。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守点検、定期清掃、植栽管理、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	配管設備科・フラワーアレンジメント科の講座の実施等

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	2,080	2,080	2,080	維持管理費	2,370	2,356	2,262
利用料金	297	299	314				
合計(①)	2,377	2,379	2,394	合計(②)	2,370	2,356	2,262
収支差額(①-②)					7	23	132

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

日常の施設清掃は同協会職員が実施し、軽微な修繕・庭木の剪定に関しては、職業訓練の一環として同協会でも実施しており、経費節減が図られている。

6 総合評価

評価コメント	専門的かつ高度な技術、ノウハウ等を有しており、適切な管理運営を行っていると思われる。
特記事項	平成30年度の利用者数は集計方法が変更になったため実質的には減少している。 施設等は老朽化しているが、指定管理者が修理、清掃等の環境整備を積極的に行っていること、利用料が安いことが挙げられることから、利用者の利便性が図られているため評価できる。 今後、新たな自主事業の開催や実習室を備えている施設の特徴を

宣伝することで、新規利用者の獲得を目指す必要がある。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市ウェルネス交流プラザ、中央地区立体自動車駐車場
指定管理者	都城まちづくり株式会社(指定期間:平成27年度～令和元年度)
施設所管課	商工観光部商工政策課(直通電話 0986-23-2983)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
交流プラザ 利用者数(人)	151,553人 (140,500人)	交流プラザは、前年度比107.8%の利用者数、立体駐車場は、前年度比148.2%の利用台数となり、どちらも増加した。これは、交流プラザに隣接する図書館などの中心市街地中核施設が平成30年4月末に開館し、年間200万人近い集客があったことや指定管理者による集客事業等の効果によるものが大きいと考えられる。
立体駐車場 利用台数(台)	151,909台 (102,519台)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、舞台設備保守管理、定期清掃、植栽管理、警備、消防設備点検、施設修繕等
企画運営業務	各施設の貸館業務、自主事業(わくわくキッズ祭り・工作教室、みやこんじょMUSIC AID 2018、温故知新コンサート、トークショー、イルミネーション、まちなか景観事業など)の展開、情報誌(まちなかつどっとこむ)の発行など

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	94,091	96,078	101,078	維持管理費	130,110	134,166	127,007
利用料金	42,328	40,593	39,400	事業費	13,475	10,254	14,570
自主事業等	9,965	9,605	6,914	自主事業等	783	574	2,816
合計(①)	146,384	146,276	147,392	合計(②)	144,368	144,994	144,393
収支差額(①-②)					2,016	1,282	2,999

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
自習コーナーを復活してほしい	図書館の開館に伴い、自習コーナーを4月27日で終了していたが、利用者からの要望や図書館での自習者が予想以上に多く自習する場所が不足したことから、6月16日から自習コーナーを再度設置した。

5 指定管理者制度導入による効果

都城まちづくり株式会社においては、これまでの実績やノウハウを活かし、当初から指定管理者として管理運営を担っている。平成30年度は平成29年度と比較し利用者が大幅に増加し、施設稼働率も依然高水準である。これは、顧客満足度の向上を目標としてサービス提供に取り組んできた成果と平成30年4月末に開館した中核施設が好影響している。パーキングについても、中核施設利用者に対する無料サービスを実施するなど、民間事業者としての経営感覚を生かした取り組みが進められており、指定管理者制度の導入効果は高いと考えられる。

6 総合評価

評価コメント	交流プラザ、パーキングとも、利用者数が大幅増となった。施設稼働率も高水準で推移しているため、増加した要因の分析や市民ニーズの汲み取り等を継続して実施していただき、効果的な事業展開を図っていただきたい。駐車場については、平成27年度から24時間営業を開始するなど、より市民ニーズに則した事業展開を図っている。また、平成30年度には中核施設が供用開始され、中核施設利用者に対しても無料サービスを実施するなど、一般利用の駐車増加を目標とした取り組みを今後も継続して実施していただきたい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市中心市街地中核施設(未来創造ステーション外4施設)
指定管理者	都城まちづくり株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	商工観光部商工政策課(直通電話 0986-23-2983)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
未来創造ステーション利用者数	23,774人 (一人)	未来創造ステーションなど都城市中心市街地中核施設及び附帯駐車場は、平成30年4月28日に新たに開館した施設である。
まちなか広場利用者数	238,414人 (一人)	
まちなか交流センター利用者数	60,956人 (一人)	
附帯駐車場利用台数	200,683人 (一人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、舞台設備保守管理、定期清掃、植栽管理、警備、消防設備点検、施設修繕等
企画運營業務	各施設の貸館業務、自主事業(九州ローカルベンチャーサミット2018、女性企業家応援セミナー、各種ステージイベント、マルマルマルシェ、まちなか博覧会など)の展開、HP(まちたん)の作成、情報誌(ランチマップ等)の発行など

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	—	—	208,267	維持管理費	—	—	196,186
利用料金	—	—	12,187	事業費	—	—	24,535
自主事業等	—	—	4,354	自主事業等	—	—	0
合計(①)	—	—	224,808	合計(②)	—	—	220,721
収支差額(①-②)				—	—	4,087	

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
未来創造ステーションの場所が分かりにくい	利用者に分かりやすいよう、案内看板を設置した
まちなか広場のレンガが白くなり、汚く感じる	レンガの白華現象のため白くなったことが判明し、清掃作業を行った

5 指定管理者制度導入による効果

供用開始1年目となる施設の指定管理者として、施設利用者へのサービス向上や自主事業による創業支援セミナーや広場等でのイベント等を年間300回以上開催

するなど、施設効果の発現に努めており、指定管理者制度導入による効果は大きいといえる。

6 総合評価

評価コメント	供用開始1年目のため、利用者数の増減比較はできないが、自主事業による創業支援セミナーや広場等でのイベント等を年間300回以上開催するなど、施設効果の発現及び利用者獲得に努めていただいている。また、施設の管理についても、コストの削減に努めて今後も継続して取り組んでいただきたい。
特記事項	特に無し

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	母智丘関之尾公園・関之尾緑の村
指定管理者	一般社団法人 都城観光協会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（直通電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
ケビン	1,339人 (1,433人)	・ケビン、バンガローはシーズン中の台風による団体のキャンセルが相次いだため、前年度と比較して減少した。 ・テニスコートは利用料金の見直しにより、前年度と比較して増加した。 ・プールは井戸を新設し、営業日数が増えたため、前年度と比較して増加した。
バンガロー	268人 (358人)	
テニスコート	5,798人 (4,997人)	
プール	4,908人 (2,387人)	
自然活用センター	150人 (41人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	公園維持管理、関之尾緑の村管理運営、施設設備等保守点検、定期清掃、軽微な修繕業務、安全管理日常点検等
企画運営業務	ニジマスの掴み取り（5月）、寄せ植え教室（6月）、ダンボールでピザ窯づくり教室（11月）、新そば打ち教室（12月）、緑の村テニス大会（1月）

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	44,117	44,281	44,117	維持管理費	51,047	48,810	47,781
利用料金	4,826	4,224	4,692	事業費	182	231	229
その他	3,483	2,505	2,819	その他	1,197	854	721
合計(①)	52,426	51,010	51,628	合計(②)	52,426	49,895	48,731
収支差額(①-②)					0	1,115	2,897

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者制度の導入より、公園・施設管理業務が適正に行なわれており、業務の効率化や経費削減が図られている。また、季節ごとの各種イベント(自主事業)

実施や利用料金の一部見直し等により、利用者の増加に努めている。

6 総合評価

評価コメント	指定管理者である（一社）都城観光協会によって公園・施設管理業務が適正に行われている。また、自主事業の企画や利用料金の見直し等により、新規利用者の獲得やリピーターの確保に努められている。 今後も観光客や利用者の多様化するニーズを的確に把握し、サービスの向上に努め、利用者増につながる工夫が求められる。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	金御岳公園
指定管理者	中郷商工会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（直通電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
サシバの館	11,664人 (11,874人)	前年度とほぼ同数である。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	公園維持管理、サシバの館管理運営、水道水の運搬、公園内トイレ・貯水槽清掃管理、サシバの館周辺・安久・梅北線道路沿い休憩所の清掃
企画運営業務	サシバの鑑賞会（10月）

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	10,744	10,444	10,928	維持管理費	10,744	10,599	10,832
その他	0	7	37	その他	0	0	0
合計(①)	10,744	10,451	10,965	合計(②)	10,744	10,599	10,832
収支差額(①-②)					0	△148	133

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者制度の導入により、きめ細かな公園管理を行うことが出来ており、業務の効率化や経費削減を図ることが出来た。
--

6 総合評価

評価コメント	各公園施設や植栽の維持管理及びサシバの館や休憩所等の清掃などきめ細かな管理が来ている。また、既存水道の休止に伴う水道水の運搬業務の増加に対しては柔軟な対応であった。今後は、金御岳の特色を生かした更なる取り組みに期待したい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山之口青井岳観光施設(総合交流活性化センター(青井岳荘)、青井岳会館、滝水亭、青井岳自然公園、青井岳キャンプ場)
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課(直通電話 0986-23-2615)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
温泉利用者数	265,341人 (270,487人)	温泉利用者の減少は、施設老朽化等による客離れが原因と思われる。それに伴い、宿泊、休憩も減少となった。キャンプ場は7/1~14の期間、経費削減のため休業したことによるもの、及び天候不良により利用者減となった。
休憩者数	33人 (77人)	
宿泊者数	2,943人 (3,142人)	
キャンプ場利用者数	3,385人 (3,664人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	青井岳温泉、宿泊施設9室(27名定員)、休憩、レストラン業務、温泉管理業務、自然公園内施設管理業務、青井岳会館・キャンプ場の管理運営業務
企画運営業務	イベント実施(紅葉まつりなど)、地場製品の展示即売

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	0	8,553	売上原価	97,034	93,602	39,339
利用料金	108,746	111,476	105,889	販売費・一般管理費	193,416	197,829	210,084
その他	178,258	180,343	121,861				
合計(①)	287,004	291,819	236,303	合計(②)	290,450	291,431	249,423
収支差額(①-②)					△3,446	388	△13,120

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
とろみのある泉質がよかった	泉質のよさを売りに、宮崎方面を中心にメディア等を活用し、広報を行った。
浴室がすべる	浴室見回り回数を増やし、清掃を徹底した。

5 指定管理者制度導入による効果

売店商品の拡充や、各メディア媒体を活用した広報等、民間ノウハウを活かした経営が実施できる。

6 総合評価

評価コメント	平成30年度は利用料金収入の減少、燃料費等販売管理費の増加があり、決算状況が悪化したが、会社合併し、他事業所のノウハウ共有も今後図られるため、今後の経営改善の取組みが求められる。
特記事項	※収支状況は全て税抜表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城観音池公園施設(高城健康増進センター、高城ふれあいセンター)
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課(代表電話 0986-23-2615)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
健康増進センター施設利用者数	277,513人 (275,035人)	健康増進センターの利用者数増は、地元物産を販売する軽トラ市等の新規企画実施を図ったことによるものと思われる。ふれあいセンターは、各種会議や合宿等増加によるものと思われる。
ふれあいセンター利用者数	5,153人 (3,761人)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払い、設備等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	温泉施設運営事業、利用者対象の抽選会、癒し効果・身体の活性化の寄与、ポイントカード、健康づくり教室

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	50,909	50,009	67,640	売上原価	2,528	2,878	2,995
利用料金	124,005	126,397	132,190	維持管理費	195,769	202,805	201,229
その他	26,809	25,322	28,575				
合計(①)	201,723	201,728	228,405	合計(②)	198,297	205,683	204,224
			収支差額(①-②)		3,426	△3,955	24,181

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
従業員の接客の感じがいい。施設も全体的にきれい。	継続的に、施設清掃や従業員接遇の向上を図っている。
キャンプ場で遊んで、温泉も近いので良かった。	隣接公園施設の管理も行っているため、各施設の紹介や誘導を行い、包括的に管理を行っている。

5 指定管理者制度導入による効果

軽トラ市や売店のポイント2倍デー実施、売場レイアウト改善等の積極的な販売促進活動を実施できた。また、徹底した清掃により清潔な環境作りに努め、サービスの向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	新規の販売促進活動も実施でき、集客アップを図ることができた。引き続き清掃、接遇を徹底し、安定的な管理経営を図っていきたい。
特記事項	※収支状況は全て税抜表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城観音池公園（こども村プール、キャンプ場）
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
子ども村プール利用者数	32,131人 (38,488人)	キャンプ場はオートキャンプ場が閑散期であった冬季が冬キャンプの人気の影響で大幅に伸びた。子ども村プール、公園遊具は設備故障による営業中止や天候不良日が前年より多く、利用者減となった。
キャンプ場利用者数	29,967人 (25,125人)	
遊具利用者数	112,030人 (123,910人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払い、設備等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	遊具施設管理運営、公園管理運営、観音池まつり・焼肉カーニバル等各種イベント協賛、グランドゴルフ大会実施

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	15,000	13,000	9,438	売上原価	773	1,508	621
利用料金	28,804	33,598	29,919	維持管理費	59,376	57,259	72,210
その他	19,534	18,091	24,437	法人税他			
合計(①)	63,339	63,689	63,794	合計(②)	60,149	58,767	72,831
収支差額(①-②)					3,190	4,572	△9,037

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
キャンプを始めたいと思いキャンプサイトを見に来た。設備も整っており良い。	キャンプブームもあり、利用者が増加しているため、より行き届いた清掃等に尽力している。

5 指定管理者制度導入による効果

施設、設備の保守点検及び修繕を適切に行い、設備の不具合に起因する事故等は無く安全が保たれており、また、公園の草刈、樹木剪定等を計画的に実施し、都市公園としての環境を良好に維持管理できている。

6 総合評価

評価コメント	キャンプ場はオートキャンプ場が閑散期であった冬季が冬キャンプの人気の影響で大幅に伸びた。遊具については、今年度は水栓
--------	--

	の故障でボート営業中止、観覧車リニューアル工事のため、使用中止等もあり利用者が減少したが、次年度は上記課題も解決されるため、更なる利用者増が求められる。
特記事項	※収支状況は全て税抜表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高城竹楽のおサト
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	5,654人 (6,395人)	一般利用は例年並みであったが、出張陶芸等の利用減少により、全体として利用者減となった。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払い、設備等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	陶芸指導事業、年間を通しての陶芸・毎月の季節陶芸教室、子供会・学校・老人介護施設等への出張陶芸教室、陶芸品販売

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	4,000	5,000	1,574	維持管理費	11,721	12,651	11,874
自主事業	3,863	3,761	3,903				
雑収入他	70	1	8				
合計(①)	7,933	8,762	5,485	合計(②)	11,721	12,651	11,874
収支差額(①-②)					△3,788	△3,889	△6,389

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
親子で参加するイベントに参加し、楽しめた。	利用者要望を把握し、より多くの方が来て楽しむことができるイベントを開催する。

5 指定管理者制度導入による効果

陶芸専門員の手ほどきにより、一年を通じて日曜陶芸教室や季節陶芸教室などができ、2ヵ月に一度イベントを開催し、多彩な陶芸体験を提供している。

6 総合評価

評価コメント	イベントのマンネリ化等により、利用者減少していると思われる。対外的な営業、PRを行い、利用者増を図ることに期待したい。
特記事項	※収支状況は全て税抜表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田かかしの里流れるプール
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	14,065人 (17,489人)	前年より天候が悪かったことが影響し、利用者が減少したと考える。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、警備、軽微な修繕 安全管理日常点検等
企画運営業務	広報業務

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	300	0	0	売上原価	243	168	128
利用料金	4,844	4,256	3,517	維持管理費	4,728	5,100	4,226
雑収入他	714	569	278				
合計(①)	5,858	4,825	3,795	合計(②)	4,971	5,268	4,354
収支差額(①-②)					887	△443	△559

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設前市道の交通安全管理について	夏休み期間中の営業になるため、クリーンセンターを利用する車やプール利用者へチラシや看板等による注意喚起を行っている。

5 指定管理者制度導入による効果

施設に隣接する余剰地をレクリエーション等の広場として活用し利用者に対するサービスの向上が図られ、市民に親しまれる施設となっている。

6 総合評価

評価コメント	天候の影響を受けやすい施設であるが、水質管理等の衛生面や、社員・アルバイトを対象に行う救命講習等にも十分に配慮されており、適切な運営がなされていると評価できる。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田パークゴルフ場
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	41,581人 (44,534人)	イベント利用者等は例年並みであったが、降雨等の天候不良の影響により施設利用者が減少したと考える。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	イベント（月例大会・全国大会等）開催事業

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	0	359	売上原価	4,396	4,358	3,285
利用料金	23,844	22,295	20,634	維持管理費	25,125	25,859	28,492
雑収入他	9,311	8,596	7,192				
合計(①)	33,155	30,891	28,185	合計(②)	29,521	30,217	31,777
収支差額(①-②)					3,634	674	△3,592

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
夏場は日中暑いため、朝早くからプレイしたい	営業時間変更により、要望に対応。日中はミストシャワー等も実施。

5 指定管理者制度導入による効果

コース管理については、利用者要望等も踏まえ、常に快適なコースを整備している。利用者や愛好者を増やすため、パークゴルフ協会やアドバイザーと共に月例大会・全国大会等を開催して利用促進が図られた。

6 総合評価

評価コメント	コース環境整備等に関しては、問題なく実施できている。継続的にイベントを実施し、リピーターを増やす必要がある。また、天候不良日の振替営業等で利用者増を図る必要がある。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田温泉交流センター(やまだ温泉)
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課(代表電話 0986-23-2615)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	98,829人 (108,435人)	利用者減の要因として、施設の老朽化、今年度よりビンゴ大会を中止したことが影響にあると思われる。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	イベント開催事業、地場産品展示即売

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	0	460	売上原価	5,575	6,159	245
利用料金	35,052	34,378	30,102	維持管理費	37,802	38,791	38,065
雑収入他	9,198	9,806	3,528				
合計(①)	44,250	44,184	34,090	合計(②)	43,377	44,950	38,310
収支差額(①-②)					874	△766	△4,220

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
照明が暗い	一部LEDに交換対応。

5 指定管理者制度導入による効果

徹底した衛生管理と細やかなサービス提供を実施している。

6 総合評価

評価コメント	自主事業については、ビンゴ大会に変わる企画実施をお願いしたい。地元の固定客が多いが、源泉ならではの特色ある雰囲気づくりを図るなど、新規客の獲得に一層の努力をお願いしたい。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田総合交流ターミナル複合施設 (ゆぼっぱ、長牟田公園)
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課(代表電話 0986-23-2615)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
ゆぼっぱ利用者数	261,632人 (283,002人)	年度末に和風露天風呂漏水のため、露天風呂営業を停止したこと等に利用者が減少したと思われる。
家族湯利用者数	45,331人 (50,801人)	休日及び平日夜は利用者が多いが、平日昼間利用者の減少が大きく影響している。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、警備、軽微な修繕 安全管理日常点検等
企画運営業務	イベント(芸能発表・ビンゴ大会等)開催事業、商品開発、 地場産品展示即売

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料		50	9,069	売上原価	120,313	125,279	35,139
利用料金	173,029	170,442	162,834	維持管理費	203,472	214,750	247,749
雑収入他	164,190	165,797	103,789				
合計(①)	337,219	336,289	275,692	合計(②)	323,785	340,029	282,888
			収支差額(①-②)		13,434	△3,740	△7,196

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
ロビー照明が暗い	入口から脱衣場に向け、照明を交換
泉質がよい	泉質のよさをPRするとともに、清掃にも一層力を入れる。

5 指定管理者制度導入による効果

利用者やリピーターを増やすため、サービス向上と徹底した衛生管理を実施している。また、売店では生産者コーナーを設置して地場産品の販売をするなど、地域の活性化に大きな役割を果たしている。

6 総合評価

評価コメント	前年度から営業に直結する修繕が多発し、それに伴い利用者減少が生じている。今後は修繕計画を見直し、予防修繕に努め
--------	---

	たい。また、泉質のよさ等を更に対外的にPRしてほしい。家族湯については、平日昼間利用が少ないため、営業時間の見直しが必要と考える。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田植樹等景観施設一堂ヶ丘公園、駐車場広場
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	14,758人 (19,046人)	降雨等の天候不順により施設利用者が減少、また隣接の市民広場供用開始により、サッカー大会等利用が流れた傾向あり。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、警備、軽微な修繕 安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,200	1,200	761	売上原価	0	0	0
利用料金	101	88	139	維持管理費	1,280	1,390	1,065
雑収入他	106	106	51				
合計(①)	1,407	1,394	951	合計(②)	1,280	1,390	1,065
			収支差額(①-②)		127	4	△114

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
芝の状態が悪い	養生管理を徹底する。

5 指定管理者制度導入による効果

定期的に樹木の剪定や芝刈りを行い適正な管理に努めている。また周辺の管理施設と一括して管理運営することが出来ている。

6 総合評価

評価コメント	芝の状態は、スポーツ大会以外にもイベント等で使用されることが多く、状態は良くない状況である。隣接に同社管理の市民広場も供用開始されたことから、調整を図りながら供用をしてほしい。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田かかしの里市民広場
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	4,825人 (一人)	H30.11月に供用開始された。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備保守管理、定期清掃、軽微修繕、植栽・芝管理
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)		1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ					
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	—	—	7,212	売上原価	—	—	0
利用料金	—	—	16	維持管理費	—	—	245
雑収入他	—	—	6		—	—	
合計(①)	—	—	7,234	合計(②)	—	—	245
収支差額(①-②)					—	—	6,989

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
トイレの水が出ない。	貯水タンクの増設を行った。

5 指定管理者制度導入による効果

定期的な樹木、芝管理に努めている。周辺施設を一体的に管理することで利用者誘導等柔軟な対応ができています。
--

6 総合評価

評価コメント	平成30年度から供用開始されたことで、開始当初は利用者から施設面の要望が多数あったため、市と指定管理者が連携して改善を図っていきたい。面積も広く、低価格で利用できることを対外的にPRしていただきたい。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園（ラスパたかざき温泉交流センター）
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	114,759人 (120,204人)	今年度は隣接する温水プールが5月～9月まで設備故障により営業停止していたため、その利用者減の影響が生じた。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	温泉宿泊施設等の運営・維持管理。
企画運営業務	ポイント倍増サービス。売店および食堂利用ポイントの付与。スタンプラリーの実施。町内団体による芸能発表会、クリスマスロビーコンサート。正月イベント（飲み物配布・大福茶提供）

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	35,535	41,585	43,915	売上原価	27,815	29,955	17,585
利用料金	80,980	80,472	55,474	維持管理費	112,246	120,801	132,469
その他	25,805	28,695	37,351				
合計(①)	142,320	150,752	136,740	合計(②)	140,061	150,756	150,054
収支差額 (①-②)					2,259	△4	△13,314

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
入れ墨をした利用者がいた	該当利用者に声をかけ、早急に注意を行った。他の利用者への謝罪も同時に行った。

5 指定管理者制度導入による効果

民間事業者のノウハウを生かした管理運営経費の節減による安定的な経営やサービス向上。企画運営面で各種イベントを多く企画し、集客力の向上が図れる。

6 総合評価

評価コメント	今年度は設備故障もあり、利用者減少を招く結果となったが、来られた利用者への謝罪対応等は評価できる。地元利用者や合宿利用が多いため、今後は施設の強みを活かしたPRを行ってほしい。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園(温水プール)
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課(代表電話 0986-23-2615)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	13,288人 (21,823人)	上半期は熱交換器故障による営業停止のため、利用者減少となった。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	プール、事務所、トレーニング機器等の運営・維持管理
企画運営業務	水中運動・水泳教室・水中歩行教室の開催、小学生スイミングスクールの開催(月・火・水・金曜日の17~18時)、アクアビクス教室の開催、都城市水泳大会、都城市中体連、無料体験教室の開催、こけない体操の開催

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	13,350	12,930	14,149	売上原価	298	471	206
利用料金	10,487	11,245	5,858	維持管理費	22,064	23,722	22,384
その他	6		398	法人税他			
合計(①)	23,843	24,175	20,405	合計(②)	22,362	24,193	22,590
収支差額(①-②)					1,481	△18	△2,185

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
営業停止中の対応	問い合わせの度、丁寧に説明対応を行い、常連利用者の方には、再開日のお知らせ等も行った。

5 指定管理者制度導入による効果

健康増進施設としての役割を十分に理解し、施設の機能を活かした自主事業が展開された。また、インストラクターの導入により、適切な指導が行われている。

6 総合評価

評価コメント	今年度は設備故障のため、大幅な利用者減を招いたが、利用者への対応を適切に行ったことは評価できる。合宿団体等への丁寧な対応も見られ、今後も利用者増を図るために、適切な接遇を心がけてほしい。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園（たちばな天文台）
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	8,342人 (7,283人)	今年度は、マンネリ化を防ぐため、新たな企画（天文台ディナー等）を実施、アウトリーチ件数を増加したことにより利用者増となった。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	天文機器、施設の維持管理
企画運営業務	皆既月食観察会、望遠鏡工作教室、流星群観測会、観月会、ロケット工作教室、年越し星見会、その他各種天体ショー観測会、施設外での出張講座(アウトリーチ)

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	8,044	8,630	8,044	売上原価	0	0	0
利用料金	1,114	965	1,004	維持管理費	10,858	9,846	6,193
その他	1,725	29	22	法人税他			
合計(①)	10,883	9,624	9,070	合計(②)	10,858	9,846	6,193
				収支差額(①-②)	25	△222	2,877

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
説明が分かりやすかった。	丁寧な接遇を心がけている。

5 指定管理者制度導入による効果

年間を通して親子で参加できる多彩なイベントを企画している。また、専門的知識と経験を有した職員がNPO法人との連携により、時節に応じた観測会等を行い、集客の向上に結び付けている。学校の夏休み期間は毎日夜間開館を実施し、親子での星の観察が行える機会を増やし、高評価を得ている。施設外での出張講座への積極的な取り組みによりアウトリーチでの利用者が増加している。

6 総合評価

評価コメント	利用者増を図るため、ラスパレストランとの協働で天文台ディナー開催等を積極的に行ったことは評価できる。その他イベント情報もメディアに積極的にPRを行い、今後も継続した活動に期待したい。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園（たちばな北斗ハウス）
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	1,880人 (1,405人)	長期合宿の受け入れやインターネット予約内容の充実により大幅に増加した。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	ログハウス、管理事務所等の運営・維持管理
企画運営業務	なし

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	0	65	売上原価	0	0	0
利用料金	1,416	2,005	2,078	維持管理費	960	1,407	1,212
その他			3	法人税他			
合計(①)	1,416	2,005	2,146	合計(②)	960	1,407	1,212
収支差額(①-②)					456	598	934

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
合宿を行ったが、快適であった。	夏場は合宿利用が多く、温泉と協力し一体的なサービスを提供できた。

5 指定管理者制度導入による効果

夜間における利用者への対応等には、ローテーションにより常時職員を確保するとともに、施設までの送迎や荷物の運搬等を行いサービスの向上に努めた。インターネット予約等、利用者の利便性の向上も行い、その結果、利用料金の増収と経費の節減が図られた。

6 総合評価

評価コメント	施設は老朽化してきているが、施設の維持管理を適切に行い利用者に喜ばれている。また、ハンモックを試験的に導入する等利用者増への取り組みも見受けられる。合宿の誘致や他施設との連携による活用促進のために更なる努力を期待する。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園（パークゴルフ場）
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	23,619人 (24,344人)	天候不良日が多く、利用者減となった。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	パークゴルフ場、クラブハウス等の運営・維持管理
企画運営業務	各大会の開催（ラスパ杯、協会主催大会、九州地区大会など）

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	160	469	売上原価	629	458	585
利用料金	9,928	10,380	11,581	維持管理費	10,142	10,092	10,775
その他	142	66	53	法人税他			
合計(①)	10,070	10,606	12,103	合計(②)	10,771	10,550	11,360
収支差額(①-②)					△701	△10	743

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
勾配のあるコースで楽しめた。	お客様に楽しんでいただけるようなコース整備に取り組んでいる。

5 指定管理者制度導入による効果

公認指導員による初心者へのルール説明や指導、パークゴルフ協会との協働による大会運営、芝や防球ネット等の適正なコース管理により利用者の満足度向上に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	コースの維持管理を適切に行っている。天候に左右される施設ではあるが、大会の開催・運営や誘致等をパークゴルフ協会との協働で積極的に行うことで、施設が有効に活用されている。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園（RVパーク）
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	商工観光部みやこんじょPR課（代表電話 0986-23-2615）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用台数	271台 (145台)	冬場のキャンプブームによる利用者増及びニーズに応えるため年度途中から連泊料金を設定したことにより増加した。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	RVパークの運営・維持管理
企画運営業務	チラシ作成（北海道のコンビニエンスストア等に配布）

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	0	0	売上原価	0	0	0
利用料金	190	141	273	維持管理費	109	66	63
その他	0	0	0	法人税他			
合計(①)	190	141	273	合計(②)	109	66	63
収支差額(①-②)					81	75	210

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
連泊料金があるとよい	長期滞在者のニーズに応えるため、行政と協議し連泊料金の設定を行った。

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者による運営のため、休日・早朝・夜間の受付・対応が可能で利用者に好評を得ている。また温泉施設等と一体的な管理ができています。

6 総合評価

評価コメント	近年のキャンプブームも追い風となり、利用者増を図れた。連泊料金を設定することで、利用者の満足度も高くなっている。温泉施設が併設しているメリットを対外的に更にPRしていくことを期待する。
特記事項	収支状況H30は税抜表示。前年度、前々年度は税込表示。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城運動公園・早水公園体育文化センター
指定管理者	株式会社文化コーポレーション(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課(直通電話 0986-23-9546)

1 利用状況

指	標	数 値	増減理由等
利用者数	都城運動公園	171,401人 (177,927人)	【都城運動公園】 主な施設の増減理由 ○体育館(増):小中学生の大会が多く開催されたため。 ○陸上競技場(増):平成29年度は4種公認改修工事による利用者が減少していたが、30年度は通常通り利用可能になったため。 ○野球場(減):改修工事により9月から12月まで閉鎖していたため。 ○弓道場(増):一般の利用が増加したため。 ○多目的室(減):日常利用団体が早水武道場へ移行したため。 ○武道館(減):スポーツ少年団等の日常利用団体が早水武道場へ移行したため。
	体育館	36,704人 (34,596人)	
	庭球場	59,608人 (59,610人)	
	陸上競技場	27,698人 (25,194人)	
	野球場	15,177人 (16,656人)	
	弓道場	2,516人 (1,972人)	
	多目的室	6,154人 (8,315人)	
	武道館	19,263人 (26,939人)	
	市民健康広場	4,281人 (4,645人)	
	早水公園体育文化センター	93,179人 (78,167人)	【早水公園体育文化センター】 主な施設の増減理由 ○体育館(増):大会開催の増加によるもの。 ○弓道場(増):一般利用の増加や、中学校及び高校の部活動などの利用によるもの。 ○遠的弓道場(増):大会が開催されたことによるもの。
	アリーナ	59,980人 (52,744人)	
	近的弓道場	18,428人 (14,061人)	
	遠的弓道場	2,794人 (608人)	
	音楽室	6,361人 (6,664人)	
	会議室	4,994人 (3,890人)	
	視聴覚室	622人 (200人)	
	サブアリーナ	15,829人	
	武道場	11,479人	
	多目的室	3,340人	
トレーニング室	358人		

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	体育施設の保守点検・整備、植栽管理、光熱水費支払 施設の定期清掃、点検、軽微な修繕 施設使用料徴収・納入
企画運営業務	利用団体調整会議の実施 自主事業の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)		① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ					
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	98,353	101,387	110,117	維持管理費	86,613	90,387	104,785
自主事業 参加者負担金	142	168	182	自主事業経費	502	526	485
自主事業 本社拠出金	360	358	303				
合計(①)	98,855	101,913	110,602	合計(②)	87,115	90,913	105,270
収支差額(①-②)					11,740	11,000	5,332

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
職員の対応が親切である。 悪い所を要望すると迅速に対応してく れた。 床が滑りやすい(体育館) 駐車場不足(都城運動公園)等	修繕や不具合箇所への対応が迅速にさ れている。 駐車場については、誘導ラインを整備 して混雑を防ぐなどの対応を行っている。

5 指定管理者制度導入による効果

施設貸し出しや料金徴収を適正に実施されている。施設の日常的な保守点検、軽微な修繕、樹木剪定などの管理が行なわれることにより、利用者の安全利用や、利便性向上に寄与している。 自主事業の開催により、施設利用者の増加や施設を身近に感じてもらうことができている。
--

6 総合評価

評価コメント	利用状況について、都城運動公園は利用者数が減少したが、早水公園内に整備されたサブアリーナ外施設への移行が進んでいることによるものである。指定管理者が計画している利用者数は対前年度115%であるが、その根拠や効果についてなんら検証されていない。利用者数は大会等の開催状況によって大きく増減するため、利用者数のみで利用状況の評価をすることは好ましくないと考えられるが、管理者が計画した数値目標は達成させるべきと考える。今後は、利用者数だけでなく施設の稼働率や日常利用に着目した評価指標を設定すべきと考える。 施設管理については、それぞれの施設で年間管理計画を作成し、それに基づいて定期・日常管理を実施している。また、日
--------	--

	<p>常的な管理については点検・清掃等の記録表も作成し、漏れがないように記録し、月報にて報告している。日常管理を充実することにより施設の安定的な運用に寄与している。備品の日常点検や、点検に伴う不具合修繕などは積極的に実施していただいている。また、清掃についても定期清掃だけでなく、休館日には一斉清掃を実施するなど利用環境の整備を進めていただいている。</p> <p>自主事業については、ハンドボールやミニテニス等の教室や、早水視聴覚室を利用した紙芝居教室なども実施し、今まで施設を利用したことがない市民が施設に触れ合うきっかけ作りとなっている。今後も利用促進に繋がるよう継続した取り組みが期待される。</p> <p>施設指定管理としては、維持管理や事業実施といった部分で問題なく運営していただいている。</p>
特記事項	早水公園体育文化センターサブアリーナ、武道場、多目的室、トレーニング室は、平成30年8月1日より追加管理開始。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市勤労青少年体育センター、姫城公園運動広場
指定管理者	姫城地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
勤労青少年体育センター	35,938人 (40,902人)	勤労青少年体育センターは、令和元年度に大規模耐震改修を実施するため、閉鎖期間に先駆けて利用団体が別の施設を利用するようになったため、利用者の減に繋がった。
姫城公園運動広場	29,727人 (27,228人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設の点検及び軽微な修繕の実施。定期清掃等
企画運営業務	自主事業として、グラウンドゴルフ大会など地域に根ざしたスポーツ大会を開催。 利用調整会議の実施。

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,160	1,160	1,160	維持管理費	1,384	1,298	1,273
繰越金等	335	197	139	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,495	1,357	1,299	合計(②)	1384	1,298	1,273
				収支差額(①-②)	111	59	26

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の修繕依頼	修繕等、必要な対応を実施

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業による各種スポーツ大会の開催を通して、施設有効活用及び地域交流に貢献している。利用者調整会議の実施による体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。

6 総合評価

評価コメント	施設の修繕等、適切な管理運営がなされている。 苦情等も少ない。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市上長飯一万城地区体育館
指定管理者	妻ヶ丘地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
上長飯一万城地区体育館	32,407人 (33,809人)	利用チームの増減は無いが、高齢等により各チームに所属する加入者の減少によるもの。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	自主事業として、年2回のミニバレー大会及びミニテニス大会の開催。 利用者調整会議の実施。

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	839	839	839	維持管理費	833	818	845
繰越金等	87	92	113	事業費			
				自主事業			
合計(①)	926	931	952	合計(②)	833	818	845
				収支差額(①-②)	93	113	107

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
設備不良に関する事	迅速に修繕等を実施

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議の実施による公平な体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。自主事業である各種スポーツ大会の開催を通して、施設の有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	利用者調整会議での連絡周知を密に実施している。定期的な点検等により、修繕箇所を把握、施設管理が行き届いている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市小松原地区体育館、都城市小松原市民広場
指定管理者	小松原地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
小松原地区体育館	29,844人 (35,425人)	地区体育館は、高齢等により各チームに所属する加入者の減少によるもの。 市民広場の増はサッカー利用者の増によるもの。
小松原市民広場	22,342人 (21,702人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設及び備品の点検及び施設等の軽微な修繕を実施。定期清掃等
企画運営業務	ミニバレー大会の開催 利用者調整会議の実施

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,437	1,437	1,726	維持管理費	1,373	1,802	1,227
繰越金等	369	433	93	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,806	1,870	1,819	合計(②)	1,373	1,802	1,227
収支差額(①-②)					433	68	592

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の破損に関すること	修繕等に対応

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業による各種スポーツ大会の開催を通して、施設有効活用及び地域交流に貢献している。利用者調整会議の実施による体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。

6 総合評価

評価コメント	利用者が快適に体育施設を利用できるよう、施設の点検・整備を積極的に行っている。また、利用者に対しての注意事項の周知や苦情の聞き取り及び対応等も的確に実施している。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市祝吉地区体育館
指定管理者	祝吉地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
祝吉地区体育館	39,250 人 (59,403人)	特に中学校部活動での部員数の減少及び保育園等の運動会を別施設にて行ったことにより利用者の減少に繋がった。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	地区住民を対象としたグラウンドゴルフ大会の開催 利用者調整会議の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	818	818	818	維持管理費	810	815	803
繰越金等	4	12	15	事業費			
				自主事業			
合計(①)	822	830	832	合計(②)	810	815	803
				収支差額(①-②)	12	15	29

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の不具合に関すること	修繕を実施

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議の実施による公平な体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。自主事業である各種スポーツ大会の開催を通して、施設の有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	体育施設の維持管理について、細やかな定期点検等により修繕が必要な箇所を的確に把握し、適切に対応している。利用調整会議にて、注意事項の周知や苦情の聞き取り及び対応等も的確に実施している。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市五十市地区体育館、都城市鷹尾市民広場
指定管理者	五十市地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
五十市地区体育館	24,805人 (32,228人)	地区体育館は、中学校部活動の部員数の減少。
鷹尾市民広場	14,611人 (16,620人)	市民広場は、高齢等により各チームに所属する加入者の減少によるもの。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設及び備品の点検、施設等の軽微な修繕、定期清掃、市民広場の草刈等
企画運営業務	年1回のスポーツ大会（ミニバレー、スカットボール、グラウンドゴルフ、カローリング）利用者調整会議の実施

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,386	1,385	1,669	維持管理費	1,706	1,060	1,743
繰越金等	413	93	452	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,799	1,478	2,121	合計(②)	1,706	1,060	1,743
収支差額(①-②)					93	418	378

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
設備不良に関すること	修繕等、迅速な対応

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業による各種スポーツ大会の開催を通して、施設有効活用及び地域交流に貢献している。利用者調整会議の実施による体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。

6 総合評価

評価コメント	地域住民からの苦情も少なく、公平な利用調整を行っており、適切な管理運営がなされている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市横市地区体育館、都城市横市市民広場
指定管理者	横市地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
横市地区体育館	32,960人 (37,665人)	地区体育館は、中学校部活動の部員数の減少によるもの。 市民広場は、少年野球の団員数の減少によるもの。 庭球場は、中学校部活動での利用が無くなったことによる減少。
横市市民広場	12,118人 (13,128人)	
庭球場	2,270人 (2,270人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会等の開催。地区スポーツ賞表彰 利用者調整会議の実施

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,571	1,571	2,115	維持管理費	1,582	1,615	2,090
繰越金等	71	60	28	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,642	1,631	2,143	合計(②)	1,582	1,615	2,090
				収支差額(①-②)	60	16	53

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の修繕依頼	修繕対応を行った

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議の実施による公平な体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。自主事業である各種スポーツ大会の開催を通して、施設の有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	施設管理及び貸出について、適正化及び効率化を意識し実施している。苦情等も少ない。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市中郷地区体育館、都城市中郷市民広場
指定管理者	中郷地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
中郷地区体育館	13,696人 (15,703人)	地区体育館は、高齢等により各チームに所属する加入者の減少によるもの。
中郷市民広場	15,240人 (15,179人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設及び備品の点検及び施設等の軽微な修繕を実施。定期清掃等
企画運営業務	10月末にスポレク祭（ミニバレー・グラウンドゴルフ・ミニボウリング）の開催 利用者調整会議の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,185	1,185	1,264	維持管理費	1,198	1,081	1,009
繰越金等	51	38	141	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,236	1,223	1,405	合計(②)	1,198	1,081	1,009
収支差額(①-②)					38	142	396

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設修繕の依頼	迅速に修繕対応

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業による各種スポーツ大会の開催を通して、施設有効活用及び地域交流に貢献している。利用者調整会議の実施による体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。

6 総合評価

評価コメント	公平な利用調整を行っており苦情も少ない。また、施設の点検を定期的に行い、不具合破損箇所の対応も迅速に行っている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市沖水地区体育館、都城市沖水市民広場
指定管理者	沖水地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
沖水地区体育館	11,745人 (14,599人)	地区体育館は、中学校部活動の部員数の減少。
沖水市民広場	10,745人 (14,443人)	市民広場は、少年野球やサッカー等の少年団の団員減少によるもの。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	ミニバレー大会、グラウンドゴルフ大会、ミニボウリング大会の開催 利用者調整会議の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,375	1,375	1,561	維持管理費	1,368	1,376	1,520
繰越金等	1	9	8	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,376	1,384	1,569	合計(②)	1,368	1,376	1,520
収支差額(①-②)					8	8	49

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
体育館不具合に関すること	修繕を実施

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議の実施による公平な体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。自主事業である各種スポーツ大会の開催を通して、施設の有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	利用調整や施設管理を積極的に行っており、会計処理も適正かつ正確に実施している。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市志和池地区体育館、都城市志和池市民広場
指定管理者	志和池地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
志和池地区体育館	11,127人 (10,848人)	地区体育館については、少女バレーによる練習試合で利用されることが増えたため。 市民広場については、少年野球の団員の減少によるもの。
志和池市民広場	10,349人 (11,988人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設及び備品の点検及び施設等の軽微な修繕を実施。定期清掃等
企画運営業務	球技大会（スカットボール等）の開催 利用者調整会議の実施

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,563	1,563	2,109	維持管理費	1,397	1,382	1,594
繰越金等	83	298	479	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,646	1,861	2,588	合計(②)	1,397	1,382	1,594
収支差額(①-②)					249	479	994

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
体育施設の利用に関すること	利用者調整会議での調整、利用者への注意事項周知

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業による各種スポーツ大会の開催を通して、施設有効活用及び地域交流に貢献している。利用者調整会議の実施による体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。

6 総合評価

評価コメント	利用者調整会議等において、利用者への注意喚起やマナーの周知など積極的を図っている。施設管理においても、点検を定期的に行っており、適切に管理運営がなされている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市庄内地区体育館、都城市庄内市民広場
指定管理者	庄内地区体育協会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
庄内地区体育館	8,868人 (13,904人)	地区体育館については、近隣の小学校や中学校体育館へ利用者が移行したため減少となった。
庄内市民広場	16,454人 (16,677人)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	スカットボール大会、ミニテニス大会（共催）及びのグラウンドゴルフ大会の開催、利用者調整会議の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,157	1,157	1,441	維持管理費	1,157	1,157	1,310
繰越金等				事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,157	1,157	1,441	合計(②)	1,157	1,157	1,310
収支差額(①-②)					0	0	131

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設整備に関すること	修繕等、迅速な対応を行った

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議の実施による公平な体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。自主事業である各種スポーツ大会の開催を通して、施設の有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	体育施設の維持管理において、迅速な対応を行い、適切な管理がなされている。自主事業にも積極的に取り組み、地域住民との交流や満足度向上が図られている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市西岳地区体育館、都城市西岳市民広場
指定管理者	西岳地区まちづくり協議会（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
西岳地区体育館	1,759人 (1,787人)	市民広場は、高齢等により各チームに所属する加入者の減少によるもの。
西岳市民広場	8,841人 (9,829人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設及び備品の点検及び施設等の軽微な修繕を実施。定期清掃等
企画運営業務	年1回のふらばーる・バレーボール大会、スカットボール大会、グラウンドゴルフ大会の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	864	864	1,011	維持管理費	926	1,051	752
繰越金等	689	626	439	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,553	1,490	1450	合計(②)	926	1,051	752
収支差額(①-②)					627	439	698

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の整備に関する事	施設の修繕等、迅速な対応を行った

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業による各種スポーツ大会の開催を通して、施設有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	体育施設の定期的な点検及び適切な修繕を行なっている。地域住民の利用が多く、自主事業や地域の行事を積極的に実施するなどして、適切な管理運営体制をとっている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市今町地区多目的研修集会施設
指定管理者	今町地区多目的研修集会施設管理組合(指定期間:平成30年度～令和2年度)
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課(直通電話 0986-23-9546)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
今町地区多目的研修集会施設	13,257人 (12,512人)	学校や保育園の利用及び継続的な夜間利用があり、利用者の増加になった。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	自治公民館単位でのグラウンドゴルフ大会。利用者調整会議の実施。

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,394	1,394	1,394	維持管理費	1390	1,420	1,390
繰越金等	56	60	35	事業費			
				自主事業			
合計(①)	1,450	1,454	1,429	合計(②)	1,390	1,420	1,390
収支差額(①-②)					60	34	39

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の整備・改修に関すること	草刈や修繕など、迅速柔軟な対応を行った。

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議の実施による公平な体育施設貸し出し・使用料徴収事務の効率化が図れている。

6 総合評価

評価コメント	細やかな施設点検を行い、必要かつ適正な修繕等を実施している。利用調整も問題なく行われており、利用者の立場に立った管理業務がなされている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市下長飯市民広場
指定管理者	下長飯自治公民館（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
下長飯市民広場	7,690人 (8,033人)	少年野球の団員の減少により利用者減になった。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、施設及び備品の点検及び施設等の軽微な修繕を実施。定期清掃等
企画運営業務	年1回のレクリエーション大会（運動会）の開催

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	582	582	624	維持管理費	572	585	640
繰越金等	21	31	28	事業費			
				自主事業			
合計(①)	603	613	652	合計(②)	572	585	640
			収支差額(①-②)		31	28	12

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
草刈の依頼、清掃など	定期的な草刈及び清掃に加え、利用者の希望にも応じて対応

5 指定管理者制度導入による効果

市民広場の点検清掃や草刈を定期的実施することにより、利用者の安全な利用が図られている。

6 総合評価

評価コメント	利用者の立場に立つことによって、快適に利用できる施設づくりを意識し、管理運営を適切に行っている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市大岩田市民広場
指定管理者	大岩田玉利自治公民館（指定期間：平成30年度～令和2年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
大岩田市民広場	1,502人 (1,335人)	少年サッカーチームの利用が1チーム増えたため利用者の増につながった。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の定期点検及び軽微な修繕を実施。光熱水費の支払い、定期清掃等
企画運営業務	年1回のグラウンドゴルフ大会（交流会）の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	541	541	584	維持管理費	539	546	591
繰越金等	17	18	13	事業費			
				自主事業			
合計(①)	558	559	597	合計(②)	539	546	591
収支差額(①-②)					19	13	6

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
広場の管理に関すること(草刈等)	定期的な草刈を実施

5 指定管理者制度導入による効果

自主事業である各種スポーツ大会の開催を通して、施設の有効活用及び地域交流に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	施設の点検や草刈を定期的に行っており、管理業務を適切に行なっている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	山之口運動公園(体育館、武道館、野球場、陸上競技場、多目的広場、ソフトボール場)、山之口佐土原市民広場
指定管理者	NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ(指定期間:平成30年度~令和元年度)
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課(直通電話 0986-23-9546)

1 利用状況

指 標	数 値	増減理由等	
利用者数	山之口運動公園	47,380人 (50,821人)	体育館は、平成28年度に改修完了以降、増加傾向となっているが、屋外施設では、台風等の天候不良により、予定していた大会等が中止になったことにより、利用者減となっている。
	体育館	22,341人 (20,706人)	
	武道館	1,203人 (1,224人)	
	野球場	7,129人 (8,894人)	
	陸上競技場	8,252人 (11,177人)	
	多目的広場	6,844人 (7,627人)	
	ソフトボール場	1,568人 (1,078人)	
	市民広場	43人 (115人)	
利用料金	1,629,270円 (1,387,710円)		

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設の貸し出しに関する事、利用料金の徴収、施設巡回点検、日常清掃、定期清掃、植栽管理、施設の修繕等に関する事
企画運営業務	自主事業(スクエアステップ&貯筋運動等)の実施、施設利用調整会議の開催、野球場及びソフトボール場の内外野整備実施

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	13,500	13,500	13,500	維持管理費	13,994	14,330	14,919
利用料金	415	1,388	1,629	自主事業経費	189	117	0
自主事業収入	294	535	0				

自動販売機			324				
雑収入			119				
合 計 (①)	14,209	15,423	15,572	合 計 (②)	14,184	14,447	14,919
収支差額 (①-②)					25	976	653

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
武道館で卓球がしたい	高城より2台搬入して対応した
駐車場から利用施設までがとおい。駐車場が足りない。	多目的広場横の駐車場や公園内の空いたスペースを案内した。

5 指定管理者制度導入による効果

管理者が常駐し、日常的な保守点検が行われた。また、樹木剪定や機械設備の保守管理についても年間計画表を作成し、大規模修繕になる前に対処ができた。

また、レクリエーション教室等のチラシ作成や町内イベントへの協力等、利用者満足度を高めようとする取り組みに関して効果を上げた。

6 総合評価

評価コメント	<p>施設の日常管理においては、維持管理事業計画に基づき計画的に対応を行なっていた。また、日常点検においても不具合箇所の発見や応急対応等を迅速に行なっていた。また、大規模な修繕及び委託をせずに対応ができていた。</p> <p>施設内に案内表示や樹木、花壇の整備など、環境整備も実施しており利用者が気持ちよく使いやすい施設管理がされた。</p> <p>また、現状の事業に満足することなく、利用者満足度を高める取り組みを能動的に実施し、スポーツレクリエーションの普及振興に寄与した。</p>
特記事項	※指定避難所（二次避難所）

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城運動公園屋内競技場
指定管理者	NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ(指定期間:平成28年度～令和2年度)
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課(直通電話 0986-23-9546)

1 利用状況

指 標		数 値	増減理由等
利用者数	高城運動公園屋内競技場	31,057人 (27,585人)	フットサル、少年野球、地域のグラウンドゴルフ大会、サッカー・野球・ソフトボールの合宿などに利用されている。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、定期清掃、植栽管理、施設の修繕、施設の点検や施設の貸館に関すること
企画運営業務	自主事業(サッカークリニック、キックバイク大会等)、資格取得に向けた講習会受講

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	4,243	5,091	5,091	維持管理費	6,004	8,684	8,740
利用料金	1,839	3,462	3,484				
目的外利用	85		144				
雑収入	19	196	108				
合計(①)	6,186	8,749	8,827	合計(②)	6,004	8,684	8,740
収支差額(①-②)					182	65	87

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
更衣室に空調設備が欲しい。夏も冬も使い勝手が悪い。シャワーも1台だけで団体で使うには少ない。	市と協議
トイレは両側に男女及び多目的トイレはあるのに洗面所がない。	同上

5 指定管理者制度導入による効果

<p>管理者が常駐し、日常的な保守点検が行われた。また、樹木剪定や機械設備の保守管理についても年間計画表を作成し、大規模修繕になる前に対処ができた。自主事業については、スポーツ教室・イベント・派遣事業等、地域活性化に繋がる事業の企画が実施された。</p> <p>また、従業者の各種取得に向けた研修等を積極的に実施しており、危機管理能</p>
--

力及び利用者満足を高める取り組みに関して効果を上げた。

6 総合評価

評価コメント	<p>施設の日常管理においては、維持管理事業計画に基づき計画的に対応を行なっていただいた。また、日常点検においても不具合箇所の発見や応急対応等を迅速に行なっていただいております、大規模な修繕及び委託をせずに対応ができていた。</p> <p>施設内に案内表示や樹木、花壇の整備など、環境整備も実施しており利用者が気持ちよく使いやすい施設管理がされた。</p> <p>地域活性化に繋がる多様な事業の企画や、従業員の積極的な資格取得により、スポーツレクリエーションの普及振興に寄与した。</p>
特記事項	※高城運動公園屋内競技場（災害後方支援拠点施設）

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田体育館
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	19,594人 (19,447人)	公民館対抗バレーボール記念大会の開催により利用者が増加したため

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、施設清掃、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	特になし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	600	1,000	926	維持管理費	1,892	2,628	2,069
利用料金	539	725	893	事業費			
自主事業				自主事業			
その他	470	510					
合計(①)	1,609	2,235	1,819	合計(②)	1,892	2,628	2,069
収支差額(①-②)					△283	△393	△250

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

施設整備については、施設の劣化状況を把握し、優先度や利用者のニーズに応じ、修繕を行うことで、既存施設を継続して利用できる。

6 総合評価

評価コメント	競技施設が集約配置され、市民利用の点では充実していることから、今後も、きめ細やかなサービスによる利用者満足度の向上に取り組み、利用促進に努めることを期待する。
特記事項	収支状況の30年度は税抜き、前年度以前は税込み

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田運動公園（野球場、庭球場、多目的広場、陸上競技場）、都城市山田第2運動公園
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546） 第2運動公園：山田総合支所 地域振興課 （代表電話 0986-64-1111）

1 利用状況

指標		数値	増減理由等
利用者数	野球場	4,746人 (6,456人)	グラウンド改修工事によるクローズ期間の利用減少
	陸上競技場	4,980人 (3,907人)	山田地区体育祭の開催による利用増加
	庭球場	5,257人 (4,971人)	少雨時でも使用可能なため、大会練習等による利用増加
	多目的広場	4,060人 (4,914人)	荒天による練習試合や大会中止等の影響で利用減少
	第2運動公園	2,988人 (3,287人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、施設清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	特になし

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	15,750	15,940	16,501	維持管理費	17,516	18,209	16,757
利用料金	1,411	1,415	1,472	事業費			
自主事業				自主事業			
その他	43	41					
合計(①)	17,204	17,396	17,973	合計(②)	17,516	18,209	16,757
収支差額(①-②)					△312	△813	1,216

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
施設の修繕依頼	迅速に対応した

5 指定管理者制度導入による効果

施設整備については、施設の劣化状況を把握し、優先度や利用者のニーズに応じ、

修繕を行うことで、既存施設を継続して利用できる。

6 総合評価

評価コメント	競技施設が集約配置され、市民利用の点では充実していることから、今後も、きめ細やかなサービスによる利用者満足度の向上に取り組み、利用促進に努めることを期待する。
特記事項	収支状況の30年度は税抜き、前年度以前は税込み

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田柔剣道場
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	90人 (268人)	スポーツ少年団の恒常的な利用の低下により減少したが、空手大会は継続している。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、施設清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	特になし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	350	350	324	維持管理費	344	349	317
利用料金	21	12	15	事業費			
自主事業				自主事業			
合計(①)	371	362	339	合計(②)	344	349	317
収支差額(①-②)					27	13	22

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用頻度が低くなった施設においても、一貫した公園維持管理を継続できる。

6 総合評価

評価コメント	競技施設が集約配置され、市民利用の点では充実していることから、今後も、きめ細やかなサービスによる利用者満足度の向上に取り組み、利用促進に努めることを期待する。
特記事項	収支状況の30年度は税抜き、前年度以前は税込み

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田弓道場
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	0人 (0人)	山田地区の愛好者個人及び団体の利用形態が過去にはあったが、平成27年度報告から利用実績がない状況にある。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	保険料支払、施設清掃、植栽管理等
企画運営業務	特になし

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	5	2	9	維持管理費	1	6	1
利用料金				事業費			
自主事業				自主事業			
合計(①)	5	2	9	合計(②)	1	6	1
収支差額(①-②)					4	△4	8

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用頻度の低い施設においても、一貫した公園維持管理を継続できる。

6 総合評価

評価コメント	競技施設が集約配置され、市民利用の点では充実していることから、今後も、きめ細やかなサービスによる利用者満足度の向上に取り組み、利用促進に努めることを期待する。
特記事項	収支状況の30年度は税抜き、前年度以前は税込み

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	高崎総合公園（体育施設）、都城市高崎大牟田地区体育館
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	教育委員会スポーツ振興課（直通電話 0986-23-9546）

1 利用状況

指 標		数 値	増減理由等
利用者数	高崎総合公園	83,872人 (82,918人)	利用者の減少は、荒天による練習試合や大会中止等の影響によるもの。
	総合体育館（会議室等含む）	19,752人 (24,261人)	
	武道館（多目的室）	2,090人 (2,521人)	
	多目的広場	14,234人 (12,984人)	
	陸上競技場	25,455人 (26,179人)	
	野球場	6,094人 (6,585人)	
	庭球場	16,247人 (10,388人)	
大牟田体育館	7,065人 (4,950人)		

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、施設清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	自主事業（かけっこクラブ、保育園運動教室）の実施

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	19,230	20,218	16,104	維持管理費	20,357	21,187	19,099
利用料金			4,997	事業費			
自主事業				自主事業			
その他	212	212					
合計（①）	19,442	20,430	21,101	合計（②）	20,357	21,187	19,099
収支差額（①－②）					△915	△757	2,002

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
施設の修繕依頼	迅速に対応した

5 指定管理者制度導入による効果

体育施設としての役割を十分に理解し、自主事業が展開された。

6 総合評価

評価コメント	前年度に引き続き核施設の稼働率は比較的高い水準が維持できている。 競技施設が集約配置され、市民利用の点では充実していることから、今後も、きめ細やかなサービスによる利用者満足度の向上に取り組む、利用促進に努めることを期待する。
特記事項	平成30年度から利用料金制を採用。 収支状況の平成30年度は税抜き、前年度以前は税込み。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市コミュニティセンター
指定管理者	文化コーポレーション(指定期間:平成27年度~令和元年)
施設所管課	教育委員会生涯学習課(直通電話 0986-23-9545)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	59,807人 (72,021人)	期日前投票所としての利用により、利用者数は減少した。昨年度に比べ利用回数は微減した。
利用回数	3,834回 (3,895回)	

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設貸館業務、設備等保守管理、定期清掃、光熱水費支払、警備、軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	自主事業の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	9,258	9,248	9,243	維持管理費	8,752	8,905	9,545
雑入	62	51	37	事業費	443	323	31
自主事業	163	189	0	自主事業	288	298	0
合計(①)	9,483	9,488	9,280	合計(②)	9,483	9,526	9,576
収支差額(①-②)					0	△38	△296

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
利用者満足度について(アンケート調査)	施設満足度70.5% 接客満足度76.4%

5 指定管理者制度導入による効果

多様な自主事業が開催され、参加する人の年齢層も幅広い。 グループ企業を利用した低コストの維持管理が行われている。

6 総合評価

評価コメント	29年度に実施できなかったコミセン発表会を30年度は実施でき、好評だった。前年度も実施していた運営委員会は実施するもののフィードバックができていなかったため、今年度は徹底したい。 利用者数が大幅に減っているが、期日前選挙の人数を考慮すると280人の減だった。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市立図書館、都城市立高城図書館
指定管理者	MA L運営共同事業体(指定期間:平成30年度~令和4年度)
施設所管課	教育委員会生涯学習課(直通電話 0986-23-9545)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
新図書館来館者数	1,106,021人 (124,918人)	平成30年4月に移転オープンした図書館は、館内の空間デザインなどが評価され、開館から約9ヶ月半100万人を突破するなど、多くの利用者が訪れている。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、建築物保守管理業務、空調設備年間保守点検業務、定期清掃、警備、消防設備点検、施設修繕等
企画運営業務	図書資料等の整備・充実業務、各種相談業務、移動図書館車運営業務、各種イベント(おはなしまるまる、映画上映会、おしえて先輩!など)業務、ギャラリー及び展示台での展示業務、など

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	—	—	224,685	維持管理費	—	—	212,965
利用料金	—	—	—	事業費	—	—	5,102
自主事業	—	—	—	光熱水費精算	—	—	6,078
合計(①)	—	—	224,685	合計(②)	—	—	224,145
収支差額(①-②)							540

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
<p>■利用者アンケート</p> <p>○図書館が移転して生活に変化があったか?⇒回答者の61%が変化があったと回答。</p> <p>○図書館での滞在時間はどのくらいですか?⇒回答者の72%が1時間~3時間以上と回答しており、滞在型の図書館利用が多い。</p>	<p>○市立図書館はグッドデザイン賞を受賞するなど、空間デザインの心地よさが高い評価を得ている。図書館を以前より利用するようになったと回答した人の割合も高く、図書館内で時間を過ごす人の割合も高いことから、市民のライフスタイルの向上にも寄与している。</p>

5 指定管理者制度導入による効果

MA L運営共同事業体は、これまでの全国での実績やノウハウを活かし、新しい市立図書館の来館者数は100万人を突破した。指定管理者制度導入により、旧図
--

書館時と比較して、開館時間が長くなったことや、定期休館日がないことも、利用者から高く評価されており、制度導入の効果が非常に高いと考えられる。館内で実施している各種事業も、民間事業者としてのノウハウを活かし、多彩な魅力溢れる事業を実施し、参加者からの評価も高い。

6 総合評価

評価コメント	<p>新しい市立図書館の利用者数は、旧図書館時に比べて約7倍となり、想定を遥かに超えた利用者が連日訪れているが、円滑な図書館運営を行っている判断される。</p> <p>また、旧図書館時に比べ、利用者の年齢層やニーズが非常に多様化していることから、ニーズに即した事業の実施や選書提案を実施していただきたい。</p>
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山之口多目的研修センター
指定管理者	都城市山之口地区麓地域公民館(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	山之口総合支所地域振興課(電話 0986-57-3116)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	1,527人 (1,616人)	雨漏り修繕による利用制限期間があったことが影響している。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、定期清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	利用者調整会議の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	160	160	160	維持管理費	253	265	215
利用料金	77	73	80	事業費	0	0	0
自主事業	0	0	0	自主事業	0	0	0
その他	16	0	△32				
合計(①)	253	233	208	合計(②)	253	265	215
収支差額(①-②)					0	△32	△7

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議による利用許可、地域住民による定期清掃

6 総合評価

評価コメント	利用者に対する節電及び節水の呼びかけが行われる等、経費節減の意識が高く、こまめな清掃及び草刈が行われ、気持ちのよい施設管理が行われている。今後も継続した管理をお願いしたい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山之口健康増進センター
指定管理者	都城市山之口地区下富吉地域公民館(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	山之口総合支所地域振興課(電話 0986-57-3116)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	6,075人 (5,797人)	地域スポーツ教室の参加者が増加していることが主な要因と考えられる。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、定期清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	利用者調整会議の開催

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	160	160	160	維持管理費	479	376	337
利用料金	295	201	184	事業費	0	0	0
自主事業	0	0	0	自主事業	0	0	0
その他	24	0	0				
合計(①)	479	361	344	合計(②)	479	376	337
収支差額(①-②)					0	△15	7

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議による利用許可、地域住民による定期清掃

6 総合評価

評価コメント	利用者に対する節電及び節水の呼びかけが行われる等、経費節減の意識が高く、こまめな清掃及び草刈が行われ、気持ちのよい施設管理が行われている。今後も継続した管理をお願いしたい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山之口上富吉地区体育館
指定管理者	都城市山之口地区上富吉地域公民館(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	山之口総合支所地域振興課(電話 0986-57-3116)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	3,934人 (5,136人)	地域住民の高齢化等により、利用していたスポーツ団体数が減少していることが主な要因と考えられる。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、定期清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	利用者調整会議の開催

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	160	160	160	維持管理費	243	272	291
利用料金	118	137	144	事業費	0	0	0
自主事業	0			自主事業	0	0	0
その他			25				
合計(①)	278	297	329	合計(②)	243	272	291
収支差額(①-②)					35	25	38

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議による利用許可、地域住民による定期清掃

6 総合評価

評価コメント	利用者に対する節電及び節水の呼びかけが行われる等、経費節減の意識が高く、こまめな清掃及び草刈が行われ、気持ちのよい施設管理が行われている。今後も継続した管理をお願いしたい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山之口花木地区体育館
指定管理者	都城市山之口地区花木地域公民館(指定期間:平成27年度~令和元年度)
施設所管課	山之口総合支所地域振興課(電話 0986-57-3116)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	3,922人 (4,107人)	スポーツ少年団による利用が多いことから、主に少年団数の減少が影響している。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、定期清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	利用者調整会議の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	160	160	160	維持管理費	308	337	292
利用料金	90	74	207	事業費	0	0	0
自主事業	0	0	0	自主事業	0	0	0
その他	58	0	0				
合計(①)	308	234	367	合計(②)	308	337	292
収支差額(①-②)					0	△103	75

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議による利用許可、地域住民による定期清掃

6 総合評価

評価コメント	利用者に対する節電及び節水の呼びかけが行われる等、経費節減の意識が高く、こまめな清掃及び草刈が行われ、気持ちのよい施設管理が行われている。今後も継続した管理をお願いしたい。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等（平成30年度実績）

施設名	都城市山之口シルバーヤングふれあいの里（都城市山之口高齢者生活福祉センター、都城市山之口ふれあいの館、都城市山之口弓道・四半的場、都城市山之口屋内ゲートボール場）
指定管理者	社会福祉法人 都城市社会福祉協議会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	山之口総合支所市民生活課（直通電話 0986-57-3112）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
高齢者生活福祉センター	4,976人 (4,839人)	高齢者生活福祉センターは個別機能訓練等、スタッフによる訓練強化により利用者に満足される施設となり137人増加した。また民生委員や関係団体との連携も一因である。 ふれあいの館はイベント等の開催や貸館等の新規利用者等828人増加した。弓道・四半的場は施設内を修繕し利便性が高まり49人増加した。屋内ゲートボール場は雨天時の利用があり13人増加した。
ふれあいの館	6,311人 (5,483人)	
弓道・四半的場	341人 (292人)	
屋内ゲートボール場	35人 (22人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、軽微な修繕、定期清掃、安全管理、浄化槽等の点検、警備業務、植栽管理
企画運営業務	介護保険法に基づく通所介護及び元気アップ、予防並びに配食サービス事業、地域福祉計画の推進、日常生活自立支援事業、生活おたすけサービス等

3 収支状況

収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	5,494	5,494	5,742	人件費等	36,017	33,074	35,297
利用料金	43,845	43,149	44,786	維持管理費	11,676	14,578	15,048
				業務委託費	3,211	2,021	2,217
合計（①）	49,339	48,643	50,528	合計（②）	50,904	49,673	52,562
				収支差額（①－②）	△1,565	△1,030	△2,034

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
特になし	

5 指定管理者制度導入による効果

都城市社会福祉協議会山之口支所が事務局となり、地域福祉協働の推進や各事業

活動の拠点として機能を有している。ふれあいの館等は、市民の憩いの場として、年齢を問わず活用され幅広く市民交流に貢献している。
 また、デイサービス事業・配食サービス事業等を実施し、高齢者の生きがいと健康維持に貢献している。

6 総合評価

評価コメント	都城市地域福祉計画に基づく総合的な地域福祉の拠点として、地区社協や山之口地区民児協と連携しながら各種の相談に応じている。住民が主体となった活動に力を入れ幅広い年齢層にふれあいの場を提供している。 高齢者福祉サービス等、高齢者の健康増進・生きがいの場として、適切に管理運用されている。
特記事項	※指定避難所（二次避難所）

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	道の駅山之口(都城市山之口ふるさと産品販売所、都城市山之口農林水産物直売所・食材供給施設、農林水産物処理加工施設)
指定管理者	道の駅山之口株式会社(指定期間:平成27年度～令和元年度)
施設所管課	山之口総合支所産業建設課(直通電話 0986-57-3113)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数(人)	130,917人 (139,800人)	台風接近の影響による施設の臨時休館。 台風被害等による天候不順が要因する農産物、加工品の入荷不足や遅延によりレジ客数が減少。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	都城市山之口ふるさと産品販売所管理、都城市山之口農林水産物直売所・食材供給施設管理、農林水産物処理加工施設管理、駐車場・トイレ・休憩施設管理、軽微な修繕等
企画運營業務	道の駅山之口感謝祭(春・秋)、ふるさと便発送(夏・冬)、地域の祭への出店、県内道の駅合同感謝祭等

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	3,086	3,086	3,086	維持管理費	5,092	5,298	5,276
利用料金	305	312	330	自主事業	125,734	124,246	116,501
自主事業	128,885	126,262	118,869				
委託料	1,215	1,268	1,276				
合計(①)	133,491	130,928	123,561	合計(②)	130,826	129,544	121,777
				収支差額(①-②)	2,665	1,384	1,784

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
アンケート調査(レストランのメニュー・接客対応)	メニュー・接客の改善、生産者への報告
加工商品の味(あく巻きの味が悪い)、農産物の鮮度(野菜の傷み)。	謝罪・代金の返金又は次回来店時に商品の交換。

5 指定管理者制度導入による効果

ふるさと産品販売所では新鮮な農産物や加工品等を提供し、また農林水産物直売所・食材供給施設では地域の特産品を活用した食材を提供している。さらに農林水産物処理加工施設では、前述の施設へ加工品を供給するための加工や地域特産品を活用した新たな商品の開発などを行い、3施設を一体活用した運営を行っている。安全・安心な地場産品の販売促進や維持管理経費の削減、サービス向上

が図られている。

6 総合評価

評価コメント	利用者数、売上が減少しており、根本的な対策を講じなければならない。例年通りの自主事業を実施する事はもとより、苦情、要望は業績を上げるためのヒントとなるので、アンケート内容には利用者増につながる項目を設けるなど、工夫した取り組みが求められる。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城運動公園・都城市高城勤労青少年ホーム・都城市石山体育センター・都城市高城農村環境改善センター・都城市高城多目的研修集会施設
指定管理者	NPO法人都城ぼんちスポーツクラブ(指定期間:平成28年度~令和2年度)
施設所管課	高城総合支所地域振興課(直通電話 0986-58-2311)

1 利用状況

指 標		数 値	増減理由等
利用者数	高城運動公園	73,777人 (70,223人)	施設毎に増減はあるが、大会や保育園等のイベントの利用が増加した総合体育館で利用者数が大きく伸びており、全施設トータルでは、前年度を上回る実績であった。
	野球場	7,502人 (8,651人)	
	総合体育館 (第2体育館・会議室を含む)	36,631人 (31,156人)	
	多目的広場・芝生広場	15,322人 (16,564人)	
	庭球場	6,922人 (7,813人)	
	弓道場	182人 (326人)	
	クラブハウス	7,218人 (5,713人)	
	高城勤労青少年ホーム	15,182人 (17,080人)	
	石山体育センター	5,209人 (4,764人)	
	高城農村環境改善センター	7,871人 (8,752人)	
	高城多目的研修集会施設	153人 (47人)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○施設利用受付・許可・案内・説明等の役務の提供に関する業務 ○施設利用料及び公園利用料の徴収に関する業務 ○施設の適正な運営のため、施設の保守点検、管理・清掃業務 ○敷地内の植栽管理(剪定、芝刈り、草地刈込み、除草、施肥、清掃等)業務 ○施設器具等の日常点検を実施し、安全確保を図る業務 ○施設内の秩序を維持し、事故、盗難・破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を予防し、利用者の安全を図る業務及び緊急時・災害時の対応業務

	○毎月の利用状況、安全点検結果のとりまとめ、及び報告業務
企画運営業務	○施設の広告宣伝、事業運営の企画立案及びその実施に関する業務 ○スポーツ教室等各種事業の立案・運営に関する業務 ○スポーツイベントの企画・運営に関する業務 ○行政が主催するスポーツ振興に関する事業の受託運営に関する業務

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額 (千円)			支出科目	金額 (千円)		
	前々年度	前年度	H30年度		前々年度	前年度	H30年度
指定管理料	33,200	33,487	33,433	維持管理費	38,907	41,345	42,404
利用料金	7,110	7,548	7,970	事業費			
自主事業				自主事業			
目的外利用	1,004	989	1,210				
合計 (①)	41,314	42,024	42,613	合計 (②)	38,907	41,345	42,404
				収支差額 (①-②)	2,407	679	209

4 利用者満足度状況 (アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
テニスコートのトイレが暗い。	照明の清掃を行い、照度を確保
青少年ホームのバスケット網が外れていた。	新品を設置
総合体育館トイレにシューズをはいたまま使用できるスリッパがあると助かります。	新たに購入し設置

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者制度の導入により、土日祝日や夜間を問わず、きめ細かな施設管理が可能となり、急な予約への対応や施設整備状況の報告、応急措置の対応も速やかに行われている。

5施設を一括して管理することによる経費節減が期待出来る。

6 総合評価

評価コメント	<p>利用者からへのアンケート調査などを行い、苦情・要望等には即座に対応しており、利用者へのサービス向上に日々取り組んでいる。</p> <p>スポーツに関する知識の豊富なスタッフを中心に施設管理に関する資格を取得するなど、管理体制の向上に努めており、さらに県外からの学生又はプロのスポーツキャンプの受け入れにも尽力している。</p> <p>また、自主事業として各種スポーツ教室、スポーツサークルに関する事業等地域に根ざした健康増進、スポーツ振興に寄与している。</p>
特記事項	<p>高城農村環境改善センターは、指定避難所 (一次避難所)</p> <p>高城運動公園総合体育館は、指定避難所 (二次避難所)</p> <p>高城勤労青少年ホームは、指定避難所 (二次避難所)</p>

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城老人福祉館
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	高城総合支所市民生活課（代表電話 0986-58-2311）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	2,422人 (2,166人)	福祉や介護に関する相談者が増加しており、そのケース会議で関係団体等による利用が増加している。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備保守管理、軽微な修繕、定期清掃
企画運営業務	高齢者を主としたレクリエーションや福祉事業等の施設利用 各種相談事業や健康管理推進利用 高城地区社会福祉協議会等の自主活動

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,768	1,768	1,768	維持管理費	1,768	1,768	1,768
利用料金				事業費			
自主事業				自主事業			
合計(①)	1,768	1,768	1,768	合計(②)	1,768	1,768	1,768
収支差額(①-②)					0	0	0

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
照明が暗い	修繕により改善

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者のノウハウが活かされ、地区社会福祉協議会や高齢者クラブ等の活動に繋がっている。

6 総合評価

評価コメント	限られた予算を有効に活用し、社会福祉計画に沿って施設の利用促進に努めている。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城地域交流センター
指定管理者	株式会社サクラドリームゲート(指定期間:平成28年度~令和2年度)
施設所管課	高城総合支所産業建設課(代表電話 0986-58-2311)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
施設利用者数	21,063人 (27,181人)	施設利用者数、パン作り体験教室利用者数ともに減少となった。イベント開催等の減少で固定客の減少につながった。
パン作り体験教室利用者数	139人 (261人)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払い、設備等保守管理、定期清掃、植栽管理、警備軽微な修繕、安全管理日常点検等
企画運営業務	パン作り体験教室 親子パン教室の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料				維持管理費	3,985	4,005	2,969
利用料金	208	132	142	事業費			
自主事業	33,706	34,067	22,496	自主事業	37,632	36,307	22,661
合計(①)	33,914	34,199	22,638	合計(②)	41,617	40,312	25,630
収支差額(①-②)					△7,703	△6,113	△2,992

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
親子パン教室に子どもと一緒に参加できたのがとても良かった。	要望を吸い上げ、パン教室の向上につなげます。

5 指定管理者制度導入による効果

パン作り体験以外に、高城地域の事業者や住民とイベントを開催し、地域振興・観光振興に寄与できた。また、パン販売や高城地域の保育園、学校、老人ホーム等へパンの供給を図れた。
--

6 総合評価

評価コメント	施設利用者数は、減少となった。営業利益は赤字が連続しており、経営は厳しいが、業務の見直しを図っており、売上は前年度より少ないが、営業利益の改善が見られる。
特記事項	※収支差額は、当該指定管理者が負担。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城横原地区コミュニティセンター
指定管理者	第5自治公民館(指定期間:平成28年度~令和2年度)
施設所管課	高城総合支所産業建設課(直通電話 0986-58-2311)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数(人)	3,623人 (3,946人)	地域住民の活動が鈍り利用者が減少した。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、利用許可業務、利用料金徴収業務、管理物件の維持及び軽微な修繕業務
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	138	138	138	維持管理費	172	186	167
利用料金	37	47	30	事業費			
自主事業				自主事業			
合計(①)	175	186	168	合計(②)	172	186	167
収支差額(①-②)					3	0	1

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

地元公民館が管理運営することにより、利用者の利便性が向上した。

6 総合評価

評価コメント	施設の設置目的である地域住民の親睦融和、軽スポーツの振興及び地域活性化を図る施設として活発に利用されている。
特記事項	※指定避難所(二次避難所)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高城原ふれあいスポーツ館
指定管理者	第1自治公民館（指定期間：平成28年度～令和2年度）
施設所管課	高城総合支所産業建設課（直通電話 0986-58-2311）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数（人）	2,626人 (2,065人)	ミニバレーやバドミントン等のスポーツ愛好団体が増加しており、利用者増につながっている。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、利用許可業務、利用料金徴収業務、管理物件の維持及び軽微な修繕業務
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	136	136	136	維持管理費	132	143	196
利用料金	24	38	46	事業費			
雑収入等	210	88	122	繰出金	150		
合計(①)	370	262	304	合計(②)	282	143	196
収支差額(①-②)					88	119	108

4 利用者満足度状況（アンケート調査、苦情要望等）

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

地元公民館が管理運営することにより、利用者の利便性が向上した。

6 総合評価

評価コメント	公民館役員や使用団体等が定期的に清掃を行っており、清潔な環境を維持している。また、前年度より自主事業団体も増え、参加人数も増加している。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市ふれあい武道館
指定管理者	第8自治公民館（指定期間：平成28年度～令和2年度）
施設所管課	高城総合支所産業建設課（直通電話 0986-58-2311）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数（人）	650人 (1,658人)	地域住民の活動が鈍り利用者が減少した。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費の支払い、利用許可業務、利用料金徴収業務、管理物件の維持及び軽微な修繕業務
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	139	139	139	維持管理費	160	186	200
利用料金	71	78	54	事業費			
雑収入等	34	84	8	自主事業			
合計(①)	244	300	201	合計(②)	160	186	200
収支差額(①-②)					84	114	1

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

地元公民館が管理運営することにより、利用者の利便性が向上した。

6 総合評価

評価コメント	公民館員の輪番制により、定期的に清掃が行われ、施設の清潔な環境が保たれている。地域住民からの苦情も無く、適切に管理運営されている。
特記事項	※指定避難所（二次避難所）

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田木之川内体育センター
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	山田総合支所地域振興課（代表電話 0986-64-1111）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	4,113人 (5,390人)	毎月利用している団体で定期利用の回数が減少していることが、利用者減の主な要因となっている。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、施設清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	利用者調整会議の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	500	500	462	維持管理費	767	1,035	693
利用料金	237	286	265				
その他		1					
合計(①)	737	787	727	合計(②)	767	1,035	693
収支差額(①-②)					△30	△248	34

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議開催による利用許可、使用料徴収事務の簡素化及び他施設と一括して管理することにより経費節減が期待できる。
--

6 総合評価

評価コメント	利用する団体数が少なくなっており、今後は指定管理者の更なる企画・管理運営が必要である。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田農業者トレーニングセンター
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社（指定期間：平成30年度～令和4年度）
施設所管課	山田総合支所地域振興課（代表電話 0986-64-1111）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	12,243人 (11,878人)	フットサルやバドミントンなどの新規団体の利用が増加している。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、施設清掃、植栽管理、軽微な修繕、施設点検等
企画運営業務	利用者調整会議の開催

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	700	500	615	維持管理費	870	1,180	1,221
利用料金	319	291	449				
その他		1					
合計(①)	1,019	792	1,064	合計(②)	870	1,180	1,221
収支差額(①-②)					149	△388	△157

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
雨漏りの苦情	大規模修繕が必要な為、指定管理者による臨時的な処置を行っている。

5 指定管理者制度導入による効果

利用者調整会議開催による利用許可、使用料徴収事務の簡素化及び他施設と一括して管理することにより経費節減が期待出来る。
--

6 総合評価

評価コメント	地区スポーツ施設として、適切な管理運営がなされており、今後も民間のノウハウを生かした企画・管理運営を通しての利用者増加が期待出来る。
特記事項	なし

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	山田総合福祉センター(けねじゅ苑)
指定管理者	社会福祉法人都市社会福祉協議会(指定期間:平成26年度～平成30年度)
施設所管課	山田総合支所市民生活課(代表番号 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
総合福祉センター	11,182人 (13,326人)	過去3年間で減少傾向にあるが、福祉まっりの内容見直しの効果はあり、見直し前の水準(平成27年度以前)を上回っている。
デイサービス事業	4,351人 (4,810人)	

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、軽微な修繕、浄化槽点検
企画運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象としたレクリエーションや福祉事業等の施設利用 ・各種相談事業や健康管理利用 ・山田地域社会福祉協議会等の自主活動 ・デイサービス事業の実施

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	2,473	2,476	2,607	人件費	32,368	22,874	18,932
利用料金等	4,789	5,040	4,596	維持管理費等	12,197	11,622	11,088
介護報酬等	28,855	28,445	25,620	業務委託費	2,156	2,126	2,383
合計(①)	36,117	35,961	32,823	合計(②)	46,721	36,621	32,403
収支差額(①-②)					△10,604	△661	420

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
設備が古い(放送設備、漏水)	放送設備は、安価で現在の運用に対応できる修繕を実施した。配水管の漏水を改善したことで、今後の光熱水費の縮減が期待できる。

5 指定管理者制度導入による効果

地域福祉活動の協働推進の拠点として、施設利用状況は安定して管理運用されている。

6 総合評価

評価コメント	デイサービス事業は、例年赤字を計上していたが、平成30年度は、人員体制の見直しを行ったことで、黒字を計上することができた。当該施設のデイサービスは、山田町山田唯一の事業所であるため、今後も安定した運用が求められる。
特記事項	※指定避難所(一次避難所)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田元気な高齢者健康増進センター（健康の館）
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会（指定期間：平成26年度～平成30年度）
施設所管課	山田総合支所市民生活課（代表電話 0986-64-1111）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	4,828人 (4,955人)	平塚地区、庄内地区及び横市地区等の、健康の館から遠方の利用者が増えたことで、利用者団体の送迎スケジュール調整に支障を来たし、1日2回の送迎を行えなかった。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、浄化槽点検、植栽管理
企画運営業務	都城市元気な高齢者健康増進事業(健康チェック、健康機器の活用、生きがいづくり、趣味活動支援及び健康維持の増進)の実施

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	7,962	8,347	8,347	人件費	6,775	7,102	6,586
利用料金	1,046	991	966	事業費	2,483	2,575	2,547
自主事業	0	0	0	自主事業	0	0	0
合計(①)	9,008	9,338	9,313	合計(②)	9,258	9,677	9,133
収支差額(①-②)					△250	△339	180

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
満足度は高い。	現在の利用者満足度を維持する。

5 指定管理者制度導入による効果

人件費の圧縮により、前年度比で経費の削減効果を得ることができた。

6 総合評価

評価コメント	利用者の満足度は高いが、利用者が施設近傍の地域に偏在していることから、今後は市内のより広域な利用者を受け入れられる工夫が必要である。
特記事項	※指定避難所(二次避難所)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田農村婦人の家、都城市山田食文化伝統伝承館
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(平成30年度～令和4年度)
施設所管課	山田総合支所産業建設課(代表電話 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	1,611人 (1,635人)	当施設を利用するリピート客の高齢化等が影響し、前年度と比較して減少した。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、警備、軽微な修繕 安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	4,000	4,000	2,778	維持管理費	4,645	4,956	4,313
利用料金	914	919	845	売上原価	3,344	2,986	2,627
その他	3,937	3,762	3,341				
合計(①)	8,851	8,681	6,964	合計(②)	7,989	7,942	6,940
収支差額(①-②)					862	739	24

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

平成30年度より、温泉等の公の施設を管理する4事業所が統合し一括管理することで、より一層の経費削減及び市民に対するサービス向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	リピート客の高齢化や中山間地域の人口減少の影響により、施設利用者は減少傾向にある。今後は町外市民を含めた新規利用者の拡大に期待したい。
特記事項	※「3 収支状況」について、平成30年度分より税抜き額で記載している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田工芸伝統伝承館
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(平成30年度～令和4年度)
施設所管課	山田総合支所産業建設課(代表電話 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	70人 (65人)	中霧陶苑主催の陶芸教室に伴う利用者数であるが、普及活動効果により利用者が増加した。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、警備、軽微な修繕 安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	123	91	83	維持管理費	223	231	217
利用料金	44	43	40	売上原価	0	0	0
その他							
合計(①)	167	134	123	合計(②)	223	231	217
収支差額(①-②)					△ 56	△ 97	△ 94

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

平成30年度より、温泉等の公の施設を管理する4事業所が統合し一括管理することで、より一層の経費削減及び市民に対するサービス向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	当施設での陶芸教室と併せて小学校の放課後児童クラブで陶芸教室を開催するなど伝統工芸の普及活動を行っており、その効果が利用者数の増加に現れたものであると考えます。
特記事項	※「3 収支状況」について、平成30年度分より税抜き額で記載している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田活性化センター(かかし館)
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(平成30年度～令和4年度)
施設所管課	山田総合支所産業建設課(代表電話 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	3,942人 (3,703人)	合宿等の宿泊利用者は天候不順等により減少したが、研修室の利用者は講演会等の開催機会が増えたことで大きく増加した。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、定期清掃、警備、軽微な修繕 安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ ② 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	6,000	6,000	5,237	維持管理費	11,654	11,400	9,560
利用料金	3,146	3,152	2,483	売上原価	1,013	1,146	675
その他	3,665	3,731	2,428				
合計(①)	12,811	12,883	10,148	合計(②)	12,667	12,546	10,235
収支差額(①-②)					144	337	△87

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

平成30年度より、温泉等の公の施設を管理する4事業所が統合し一括管理することで、より一層の経費削減及び市民に対するサービス向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	当施設は、合宿等の宿泊利用者数及び研修室等の利用時間が収益に影響するため、より一層のサービス向上と、当年度にオープンした市民広場の利用者を宿泊客として受入れられるよう、効果的な広報活動等の実施が求められる。
特記事項	※「3 収支状況」について、平成30年度分より税抜き額で記載している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田ふれあい農園
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(平成30年度～令和4年度)
施設所管課	山田総合支所産業建設課(代表電話 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
契約数	16人 (16人)	農地の借受人については、前年度と変更がなかった。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	施設維持管理、安全管理日常点検等
企画運営業務	なし

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	350	350	324	維持管理費	426	479	524
利用料金	99	77	84	売上原価			
その他							
合計(①)	449	427	408	合計(②)	426	479	524
収支差額(①-②)					23	△52	△116

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

平成30年度より、温泉等の公の施設を管理する4事業所が統合し一括管理することで、より一層の経費削減及び市民に対するサービス向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	利用者数及び貸付農地数(54区画のうち53区画貸付け)は前年度と同じであったが、人件費等が影響し赤字となった。統合のメリットを生かした経費削減に期待したい。
特記事項	※「3 収支状況」について、平成30年度分より税抜き額で記載している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田谷頭駅前買物公園
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(平成30年度～令和4年度)
施設所管課	山田総合支所産業建設課(代表電話 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	1,000人 (1,000人)	八坂神社夏まつりの来場者人数(概数)

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	公園内の定期清掃
企画運営業務	なし

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	80	10	46	維持管理費	176	85	76
利用料金				売上原価			
その他							
合計(①)	80	10	46	合計(②)	176	85	76
収支差額(①-②)					△96	△75	△30

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

平成30年度より、温泉等の公の施設を管理する4事業所が統合し一括管理することで、より一層の経費削減及び市民に対するサービス向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	駅利用者や地域住民に配慮し、適切に施設の管理運営を実施された。今後も継続して取り組んでいただきたい。
特記事項	※「3 収支状況」について、平成30年度分より税抜き額で記載している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市山田稲妻郷土の森
指定管理者	都城ぼんち地域振興株式会社(平成30年度～令和4年度)
施設所管課	山田総合支所産業建設課(代表電話 0986-64-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	不明 (不明)	一般開放しており利用者数を把握できない。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	安全管理日常点検
企画運営業務	なし

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	0	10	23	維持管理費	0	25	24
利用料金							
合計(①)	0	10	23	合計(②)	0	25	24
収支差額(①-②)					0	△15	△1

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

平成30年度より、温泉等の公の施設を管理する4事業所が統合し一括管理することで、より一層の経費削減及び市民に対するサービス向上が図られた。

6 総合評価

評価コメント	施設の安全点検が主な業務であるが、登山客等が安心安全に利用できるよう、入念に点検され無事故に貢献した。
特記事項	※「3 収支状況」について、平成30年度分より税抜き額で記載している。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高崎デイサービスセンター
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会（指定期間：平成27年度～令和元年度）
施設所管課	高崎総合支所市民生活課（代表電話 0986-62-1111）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数（人）	3,071人 (3,193人)	利用者が長期の入院や施設入所等により減となり、新たな加入者も増えなかったためである。

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、軽微な修繕、定期清掃、安全管理 日常点検
企画運営業務	介護保険法の規定による通所介護等に係る居宅サービスの提供、介護認定申請中や要支援・要介護状態の方へ一日無料体験サービス

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額（千円）			支出科目	金額（千円）		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
利用料金	23,992	21,835	21,617	人件費	15,043	14,505	15,974
その他	2	3	4	事業費	8,014	8,090	7,767
				事務費	159	181	228
				その他	14	3	4
合計(①)	23,994	21,838	21,621	合計(②)	23,230	22,779	23,973
				収支差額(①-②)	764	△941	△2,352

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

指定管理者の自主事業・委託事業の展開により、通所介護サービス、一日無料体験サービス、配食サービスを実施し、地域の高齢者福祉サービスに努めている。

6 総合評価

評価コメント	要介護状態又は要支援状態にある利用者に対し、介護予防等を目的とした入浴等ほか生活の支援、機能訓練等で介護の重度化の予防を行っているが、利用状況については死亡・入院（長期）、他施設への移行等で減少傾向にある。増加への見込みが厳しく、今後の管理運営にかなり影響すると予測される。
特記事項	老朽化に対する施設・設備の修繕（雨漏り等）、備品の買い換えが必要である。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高崎老人福祉館
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会(指定期間:平成27年度～令和元年度)
施設所管課	高崎総合支所市民生活課(代表電話 0986-62-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	1,804人 (1,894人)	高齢者クラブ等での利用が減り、前年度と比較して90人減少した。

()内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、軽微な修繕、定期清掃、安全管理日常点検
企画運営業務	高齢者へのレクリエーション・教養講座等の老人福祉事業等への施設利用業務

3 収支状況

収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	1,822	1,822	1,822	維持管理費	1,822	1,868	1,822
合計(①)	1,822	1,822	1,822	合計(②)	1,822	1,868	1,822
収支差額(①-②)					0	△46	0

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

都城市社会福祉協議会高崎支所の事務局が事務所に入っており、地域協働による地域福祉の推進や各事業活動の拠点としての機能を有している。

6 総合評価

評価コメント	利用団体の会員減等により、利用者は減少傾向にあるが、高齢者の社会参加の推進、生きがい対策の促進の場として、高齢者クラブや地区民生委員児童委員協議会、地域の高齢者集会、ボランティア団体等での活用がなされている。
特記事項	施設老朽化による施設の修繕(雨漏り等)、設備の更新(空調機等)を必要とし、課題となっている。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高崎介護予防ふれあい交流センター
指定管理者	社会福祉法人都城市社会福祉協議会(指定期間:平成27年度～令和元年度)
施設所管課	高崎総合支所市民生活課(代表電話 0986-62-1111)

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
利用者数	2,533人 (2,320人)	高齢者の「集いの場」として開設している「さわやかサロン」の参加者が増加し、利用者の増となった。

() 内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	光熱水費支払、設備等保守管理、軽微な修繕、定期清掃、安全管理日常点検
企画運営業務	高齢者の生きがいと健康維持の推進のための施設利用事業

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	① 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 3 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	30年度		前々年度	前年度	30年度
指定管理料	2,596	2,596	2,596	人件費	1,232	1,278	1,296
				事業費	1,357	1,311	1,266
				事務費	7	7	7
合計(①)	2,596	2,596	2,596	合計(②)	2,596	2,596	2,569
				収支差額(①-②)	0	0	27

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
なし	

5 指定管理者制度導入による効果

主事業によるふれあい相談窓口の開設、ボランティアセンターの設置による地域ボランティア活動の活性化、高崎地区社会福祉協議会の設置による地域福祉の推進に努め、地域に密着した活動が図られている。

6 総合評価

評価コメント	高齢者相互の交流と健康維持のための「さわやかサロン」が充実してきており利用者増に至っている。ほかに地域の総合的な相談窓口開設、ボランティア担当職員の常駐、高崎地区社協の設置により、地域ボランティア活動の拠点としても機能し、地域協働による地域福祉の推進としての役割を果たしている。
特記事項	さわやかサロン等の利用者増により、健康器具利用も増加している。耐用年数経過の備品更新が必要である。

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等(平成30年度実績)

施設名	都城市高崎農産加工センター
指定管理者	高崎町農産加工センター事業協同組合（指定管理期間：平成30年度～令和6年度）
施設所管課	高崎総合支所産業建設課（代表電話：0986-62-1111）

1 利用状況

指標	数値	増減理由等
(大牟田)	873人 (1,141人)	組合員及び施設利用者の高齢化に伴い、利用者、利用回数が減っている。
(江平)	197人 (261人)	

（ ）内は前年度数値

2 管理運営状況

項目	業務の内容
維持管理業務	地場産品・新商品開発・加工品販売、施設の運営・維持管理
企画運営業務	春祭り、母、父の日、お助け弁当、椎茸祭り、夏祭り 視察研修、組合員研修、販売施設講習会

3 収支状況

財源区分 (該当する番号に○)	1 指定管理料のみ 2 指定管理料+利用料金収入 ③ 利用料金収入のみ						
収入科目	金額(千円)			支出科目	金額(千円)		
	前々年度	前年度	1年度		前々年度	前年度	1年度
指定管理料	0	0	0	維持管理費	12,992	12,853	14,595
利用料金	184	216	200	事業費	770	600	310
自主事業	14,901	14,347	12,956	自主事業	0	0	0
合計(①)	15,085	14,563	13,156	合計(②)	13,762	13,453	14,905
収支差額(①-②)					1,323	1,110	△1,749

4 利用者満足度状況(アンケート調査、苦情要望等)

意見等の内容	対応実績等
特になし	

5 指定管理者制度導入による効果

地域の食材を使った加工品の販売、地元農産物販売、各種イベントの開催が、組合主導で行われ、地域おこし協力隊員と共同で新商品開発も積極的に行われた。

6 総合評価

評価コメント	第1,2四半期に、加工商品の製造が少なかった為、大幅な収益減となった。第3,4四半期は、積極的な製造、イベント開催による収益増が計られた。
特記事項	組合員、生産者の高齢化が顕著となっているので、新規組合員、市内の農畜産物提供生産者を増やす事が求められる。